
平成22年度
県民アンケート調査
報告書（概要版）



平城遷都1300年祭

平成22年11月

奈良県

— 目 次 —

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法	1
4 調査票の配付・回収の状況	1

第2章 調査結果の概要

1 県民の生活全般について	
1-1 現在の暮らし向きの実感	3
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感	4
1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由	5
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無	6
1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容	7
1-6 奈良県の住みやすさの評価	8
1-7 将来の奈良県での定住意向	9
1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由	10
1-9 インターネットの利用状況	11
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	
2-1 県民の身近な生活に関する項目の重要度と満足度の関係	12
2-2 地域別の重要度・満足度の比較	14
2-3 ライフステージ別の重要度・満足度の比較	17
3 買物やサービスの利用に関する意識やニーズについて	
3-1 日常の食料品・日用品の買物	20
3-2 通信販売	22
3-3 奈良県産の農畜産物	25
3-4 県内の観光・レクリエーション	27
4 健康づくりに関する意識やニーズについて	
4-1 現在の健康状態	31
4-2 健康のために行っている運動の種類	32
4-3 運動をしない理由	33
4-4 内科的な健康診断やがん検診の受診状況	34
5 生涯にわたる学びに関する意識やニーズについて	
5-1 学習活動の実施状況	35
5-2 学習環境の充実状況	36
5-3 学習活動について行政に求めること	37

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「買物やサービスの利用」や「健康づくり」、「生涯にわたる学び」に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

県民の生活全般に関する項目、県民にとって身近な生活に関する項目についての重要度と満足度を5段階で問う項目、「買物やサービスの利用」や「健康づくり」、「生涯にわたる学び」に関する意識やニーズ及び回答者の属性を問うフェイスシートから構成されています。

3 調査方法

- ◇調査地域：奈良県全域
- ◇調査対象：県内在住の満20歳以上の男女・個人
- ◇調査標本数：5,000人
- ◇標本抽出法：層化二段無作為抽出法
- ◇調査方法：郵送配付・郵送回収
- ◇調査時期：平成22年5月20日～6月9日

4 調査票の配付・回収の状況

調査票配付件数 5,000件 → 有効回答数(率) 2,848件 (57.0%)

◆地域の区分と対応する市町村及び地域別の実有効回答数

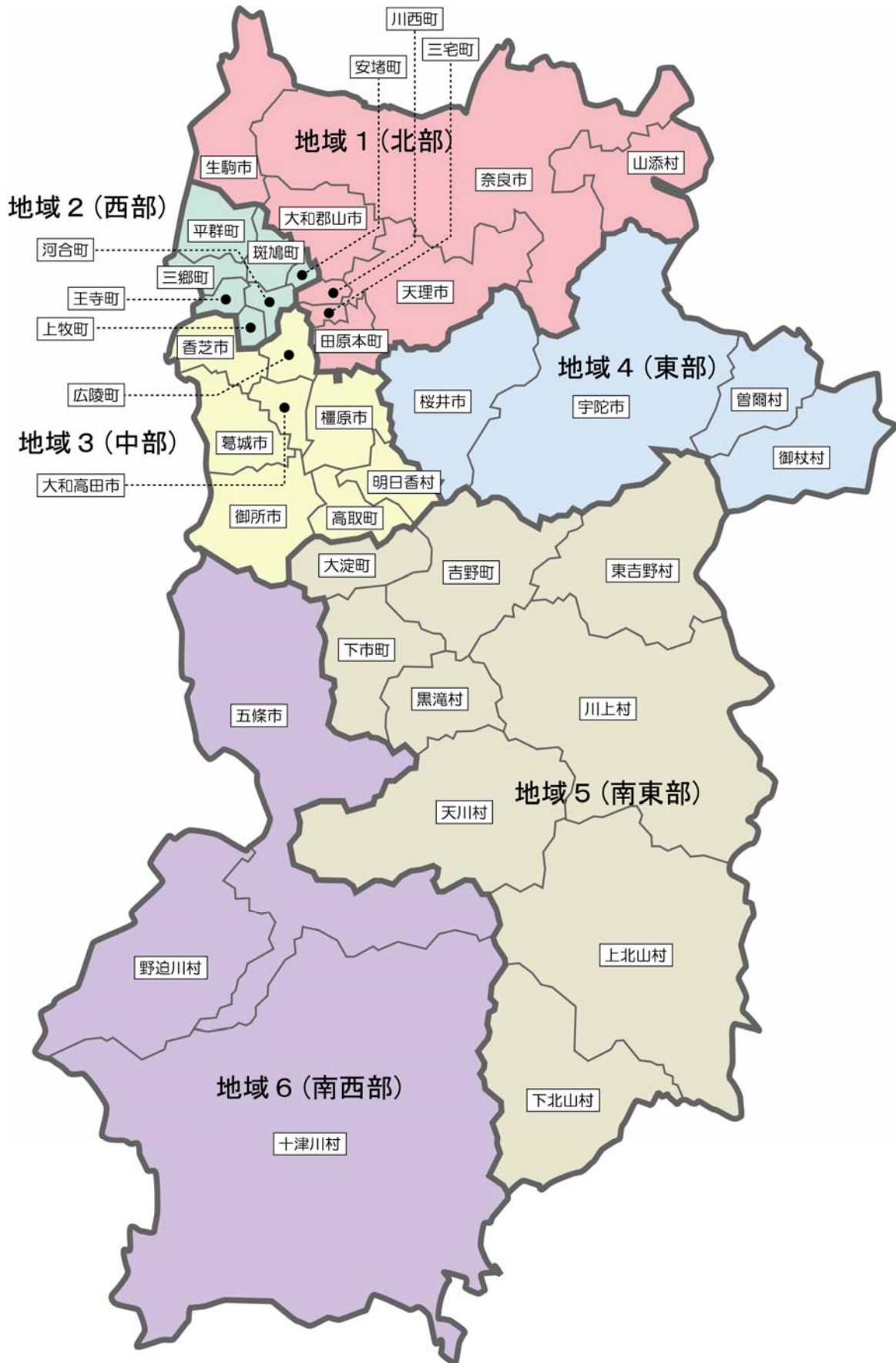
地域区分	対応する市町村	実有効回答数及び構成比
地域1(北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町	1,345件(47.2%)
地域2(西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町	287件(10.1%)
地域3(中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町	709件(24.9%)
地域4(東部)	桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村	216件(7.6%)
地域5(南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	202件(7.1%)
地域6(南西部)	五條市・野迫川村・十津川村	89件(3.1%)
合計		2,848件

◆ライフステージの区分と区分の設定条件及び実有効回答数

ライフステージ区分	区分の設定条件	実有効回答数及び構成比
若者	20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者	221件(7.8%)
夫婦	20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者	280件(9.8%)
育児期	小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者	163件(5.7%)
教育期前期	小・中学生、高校生の子どもがいる世帯の回答者	361件(12.7%)
教育期後期	専門学校生・短大生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者	208件(7.3%)
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者	110件(3.9%)
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者	418件(14.7%)
対象者数		2,848件

(注) ライフステージ区分は、「年齢」、「世帯構成」、「子どもの成長段階」の複数の要素を組み合わせて設定している。区分に該当しない対象者、2人以上の子どもがいる対象者がいるため、実有効回答数の合計(1,761件)は対象者数(2,848件)と一致しない。なお、構成比は対象者数に対する比率である。

【県内地域区分図】



第2章 調査結果の概要

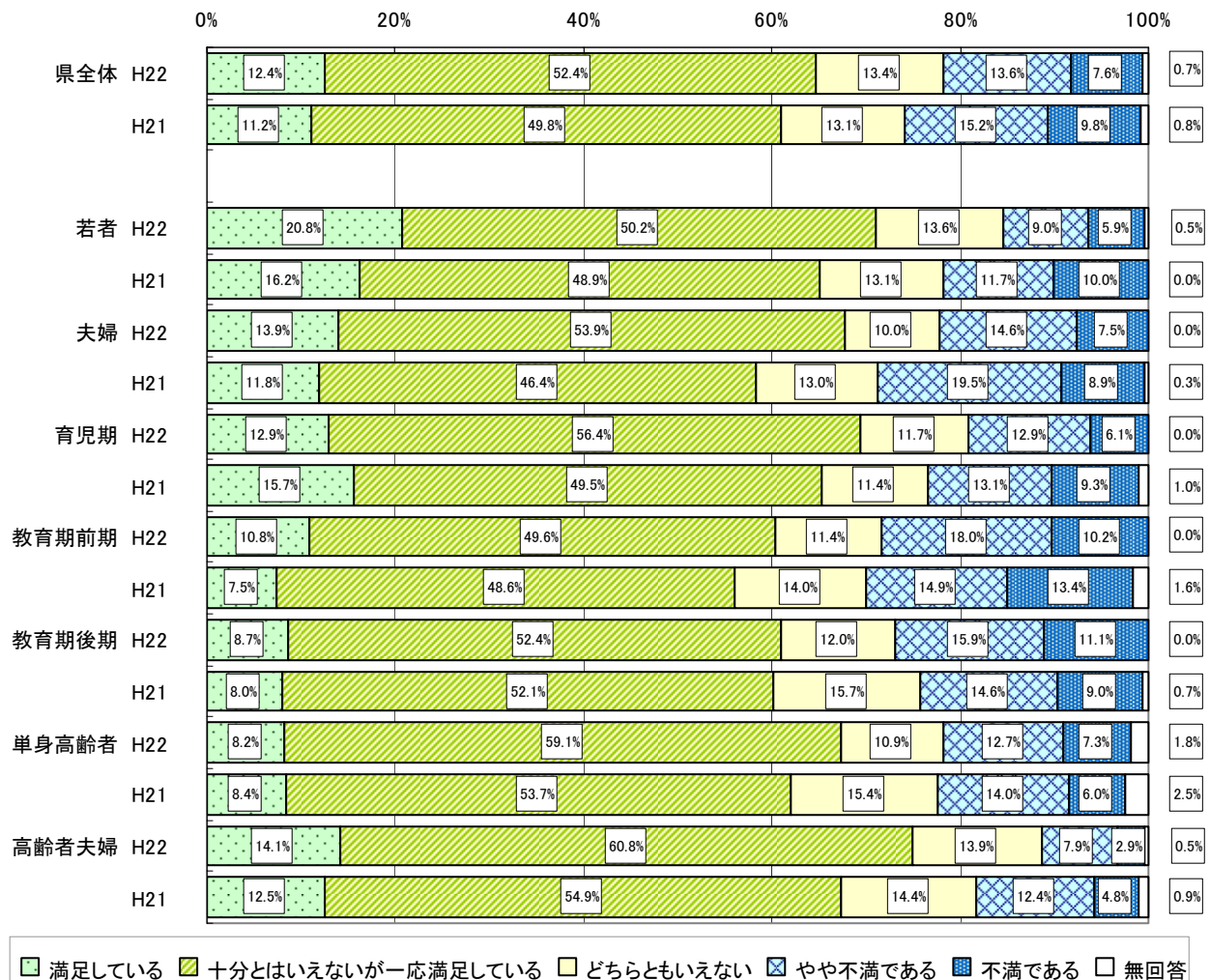
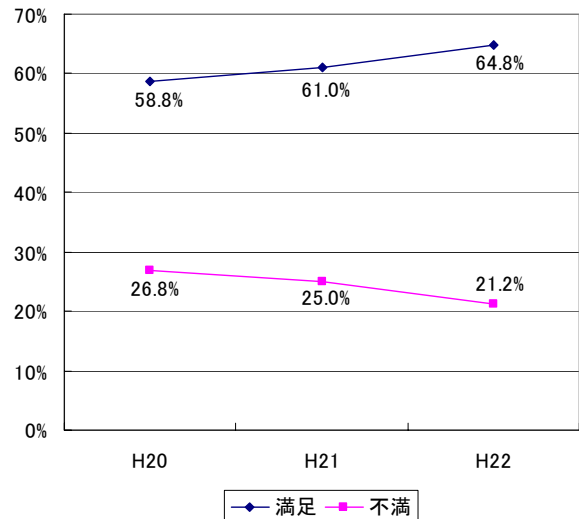
1 県民の生活全般について

1-1 現在の暮らし向きの実感

◇3年間で比較すると、「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）している人は増加し続け、「不満」（「不満である」＋「やや不満である」）を抱えている人は減少し続けています。

平成21年度と比較すると、「満足」している人が3.8ポイント増加し、「不満」を抱えている人が3.8ポイント減少しています。

◇ライフステージ別にみると、他のライフステージに比べ、「教育期前期」（28.2%）、「教育期後期」（27.0%）で現在の暮らし向きに対し「不満」を抱えている人が多くなっています。

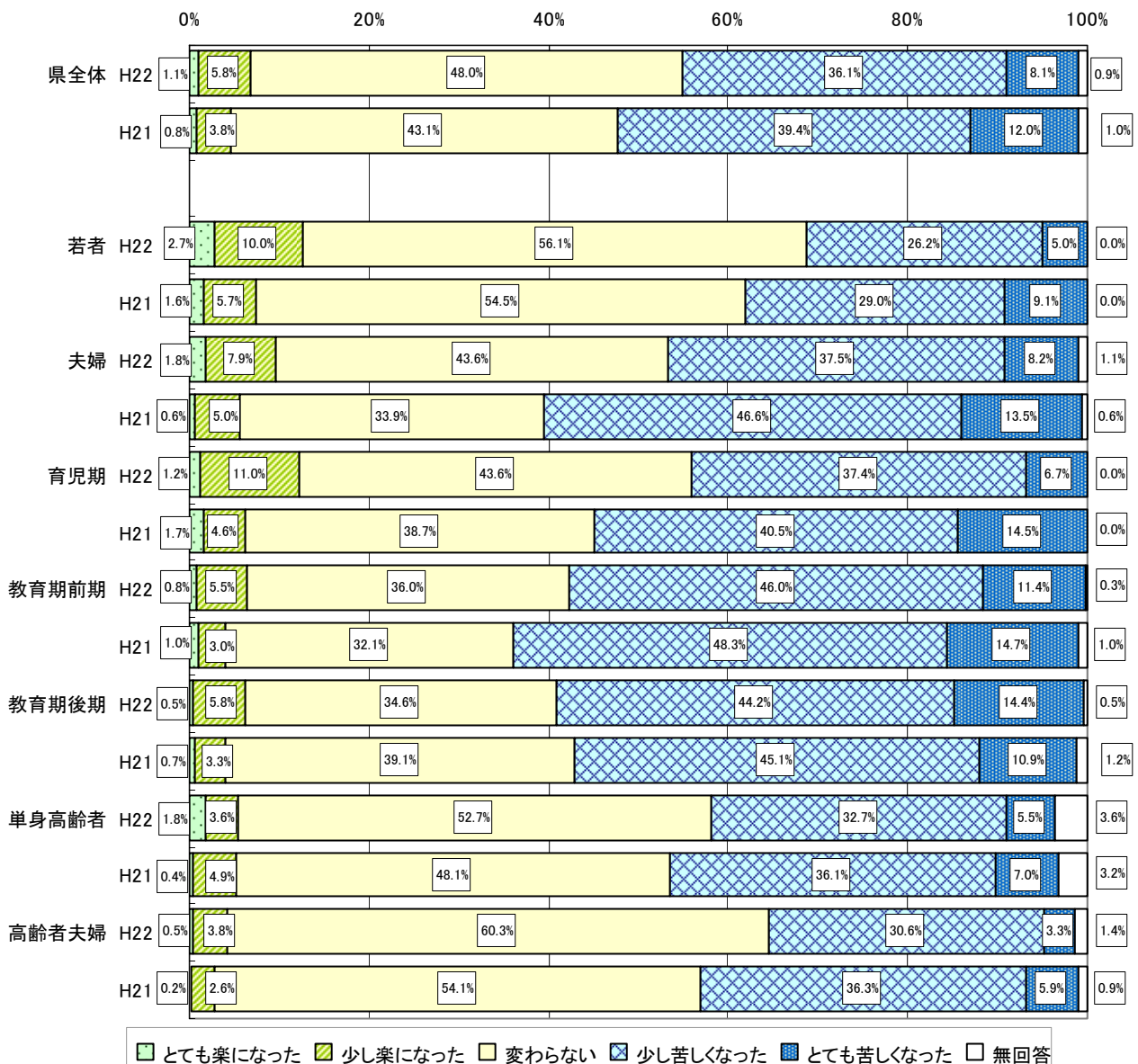
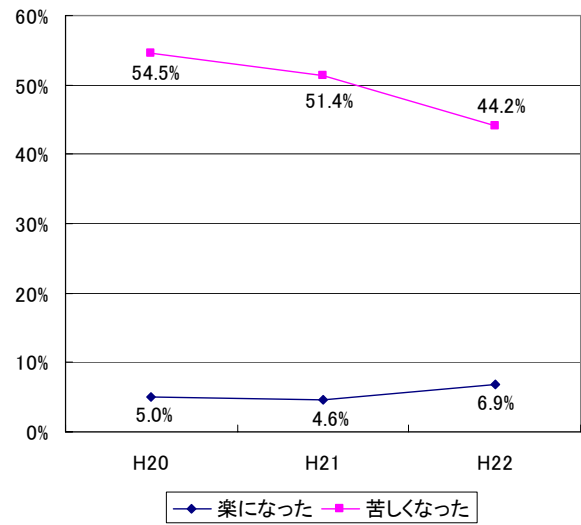


1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感

◇44.2%が「苦しくなった」(「とても苦しくなった」+「少し苦しくなった」)と感じています。2年連続で減少しています。また、「楽になった」(「とても楽になった」+「少し楽になった」)人は平成21年度より増加し、3年間で最も多くなっています。

◇ライフステージ別にみると、「教育期前期」および「教育期後期」の50%以上が「苦しくなった」と感じています。

平成21年度と比較すると、「教育期後期」(2.6ポイント増)を除く全てのライフステージで「苦しくなった」と感じている人が減少しています。



1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由

◇1年前と比較して暮らし向きが「苦しくなった」と感じている人に対して、その理由をたずねたところ、「給料や収益が増えない、または減少したから」(67.2%)が最も多く、次いで、「税金や保険料の支払いが増えたから」(37.2%)、「家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから」(26.2%)が多く挙げられています。

◇ライフステージ別にみると、「高齢者夫婦」以外では「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっており、「高齢者夫婦」は「税金や保険料の支払いが増えたから」が最も多くなっています。

また、「育児期」では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」、「教育期前期」、「教育期後期」では「教育にかかる費用が増えたから」、「単身高齢者」では「利率の低下などにより預貯金が目減りしたから」を選んだ人が多く、ライフステージ毎に特徴が見られます。

(上段：平成22年度結果、下段：前年度からの増減値)

	給料や収益が増えない、または減少したから	税金や保険料の支払いが増えたから	家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	利率の低下などにより預貯金が目減りしたから	教育にかかる費用が増えたから	失業、退職、病気などで働き手が減ったから	結婚、出産、病気など特別な支出があったから	家業や商売などにかかる営業経費が増えたから	その他	
県全体	67.2% ▲2.4	37.2% ▲2.9	26.2% ▲1.0	24.4% ▲6.9	21.9% ▲2.5	21.0% ▲0.7	18.5% ▲2.0	16.9% ▲0.4	7.4% ▲1.8	7.2% ▲0.0	
ライフステージ別	若者	73.9% ▲4.3	34.8% ▲5.2	42.0% 18.6	23.2% ▲0.7	10.1% ▲0.9	23.2% 10.0	21.7% 8.3	24.6% 15.5	5.8% ▲4.3	
	夫婦	77.3% 5.7	38.3% ▲0.1	25.8% ▲6.0	23.4% ▲2.9	28.9% 3.2	1.6% ▲2.2	14.8% ▲15.2	11.7% ▲5.3	6.3% 2.9	
	育児期	73.6% ▲3.2	43.1% ▲1.4	34.7% ▲1.5	68.1% 3.3	6.9% ▲7.0	31.9% ▲12.3	11.1% ▲6.5	43.7% 20.1	9.7% 4.6	1.4% ▲2.5
	教育期前期	80.7% 1.5	28.0% ▲2.6	29.5% ▲3.4	33.3% ▲5.3	11.1% ▲6.3	68.1% ▲0.1	6.3% ▲6.5	8.2% ▲0.6	3.4% ▲3.1	3.4% ▲0.2
	教育期後期	84.4% 9.6	23.0% ▲13.0	28.7% ▲4.7	20.5% ▲7.5	14.8% ▲8.5	65.6% 4.2	18.0% 5.3	5.7% ▲4.6	6.6% ▲5.9	1.6% ▲3.8
	単身高齢者	35.7% 2.4	31.0% ▲9.7	19.0% 2.8	26.2% 9.1	31.0% 0.1	0.0% ▲4.1	16.7% 4.5	16.7% ▲2.8	4.8% 4.8	23.8% 1.9
	高齢者夫婦	41.5% 0.3	50.7% ▲2.2	24.6% 4.9	16.9% ▲11.6	31.0% ▲7.8	1.4% 1.2	10.6% ▲6.8	21.1% 0.8	4.2% 0.2	14.8% 0.4

(注) 集計結果は「県全体」の平成22年度の結果が多い項目順に並べている。

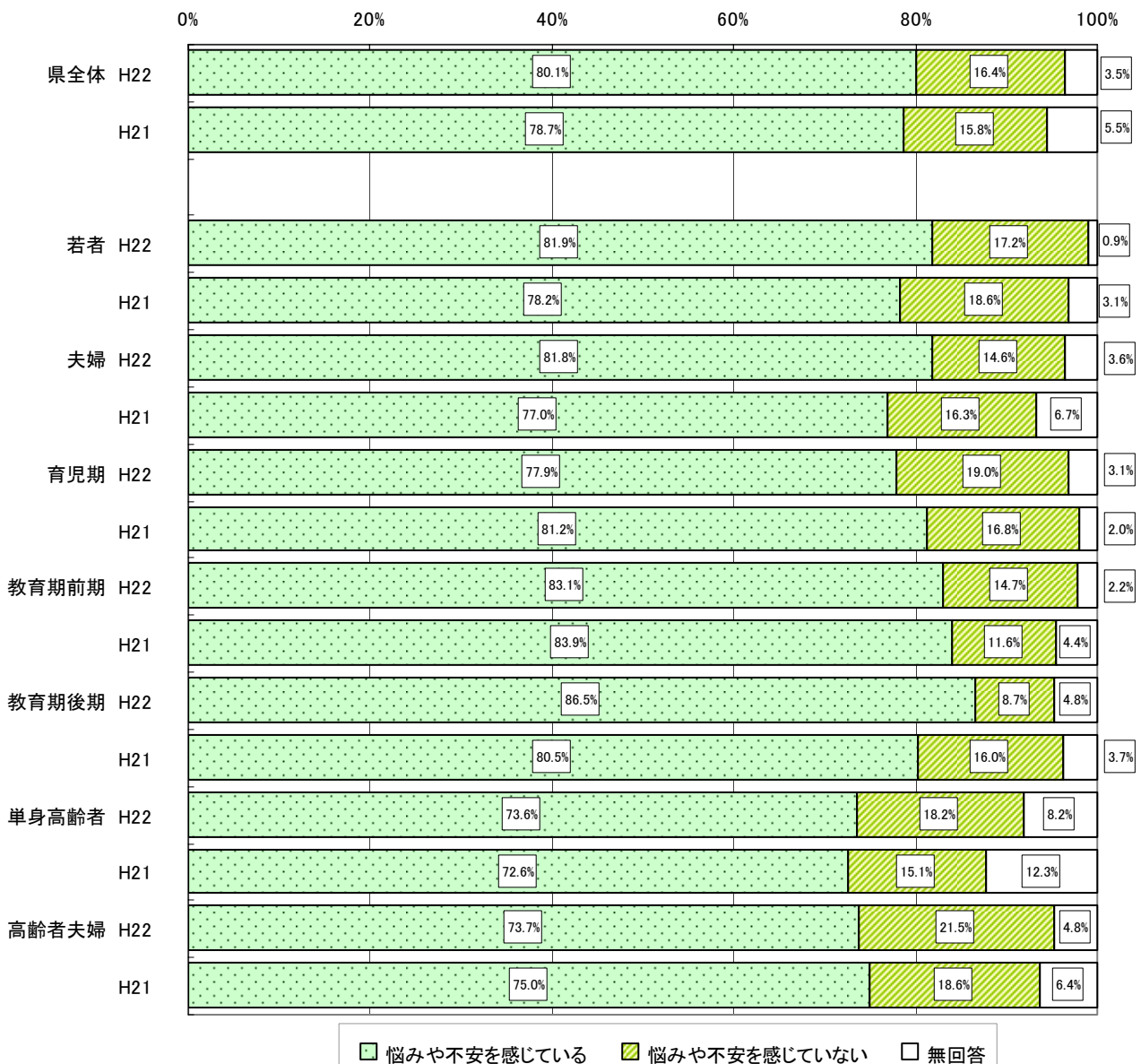
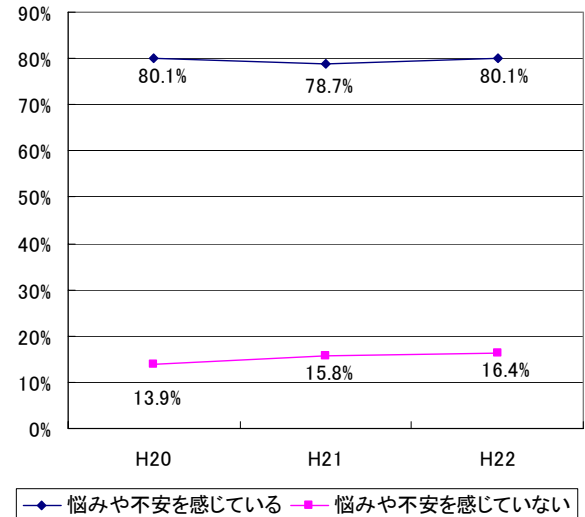
太字は「その他」を除いた平成22年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を、斜体は同率であることを示している。また、網かけは平成21年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無

◇80.1%が「悩みや不安を感じている」と回答しており、平成21年度より僅かに増加しています。一方、「悩みや不安を感じていない」人は16.4%で、2年連続で増加しています。

◇ライフステージ別にみると、「若者」、「夫婦」、「教育期前期」、「教育期後期」では「悩みや不安を感じている」人が80%以上を占めており、他のライフステージに比べてやや多くなっています。

平成21年度と比較すると、「若者」、「夫婦」「教育期後期」、「単身高齢者」では「悩みや不安を感じている」人が増加しています。



1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容

◇日頃の生活で「悩みや不安を感じている」人に対して、その内容をたずねたところ、「老後の生活設計について」(57.7%)が最も多く、以下、「自分の健康について」(56.5%)、「家族の健康について」(51.7%)と続いています。上位2項目は前回と同じ項目となっており、その他の項目についても大きな順位変動はありません。

◇ライフステージ別にみると、「若者」では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」、「夫婦」では「老後の生活設計について」、「育児期」と「教育期前期」では「今後の収入や資産の見通しについて」、「教育期後期」では「老後の生活設計について」と「今後の収入や資産の見通しについて」、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「自分の健康について」がそれぞれ最も多く、ライフステージによって悩みや不安の違いが見られます。

(上段：平成22年度結果、下段：前年度からの増減値)

	老後の生活設計について	自分の健康について	家族の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	現在の収入や資産について	家族の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について	自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について	家族・親族間の人間関係について	勤務先での仕事や人間関係について	事業や家業の経営上の問題について	近隣・地域との関係について	その他
県全体	57.7% ▲0.3	56.5% ▲0.3	51.7% ▲1.9	51.0% ▲3.7	32.4% ▲5.8	27.7% ▲1.5	13.3% ▲4.3	12.6% ▲1.6	11.1% ▲1.1	10.9% ▲0.1	9.3% ▲2.9	3.6% ▲1.9
若者	22.7% ▲2.8	31.5% ▲2.3	35.9% ▲0.2	56.9% ▲0.5	38.1% ▲7.4	17.1% ▲0.8	66.9% ▲9.7	11.0% ▲1.2	29.3% ▲1.5	5.0% ▲1.6	6.1% ▲2.1	2.8% ▲2.2
夫婦	76.9% ▲2.3	56.3% ▲1.4	58.1% ▲0.9	58.5% ▲6.5	28.4% ▲17.0	15.3% ▲1.7	5.7% ▲0.7	12.2% ▲1.4	7.0% ▲3.1	12.7% ▲0.4	8.7% ▲3.3	4.4% ▲3.8
育児期	34.6% ▲10.7	36.2% ▲2.2	44.9% ▲1.4	74.8% ▲3.7	49.6% ▲4.9	25.2% ▲6.1	11.8% ▲1.7	12.6% ▲5.7	21.3% ▲6.3	11.0% ▲2.0	7.1% ▲4.1	5.5% ▲3.0
教育期前期	48.3% ▲7.8	42.0% ▲0.9	44.7% ▲5.1	64.3% ▲4.1	44.0% ▲0.3	50.0% ▲1.9	7.3% ▲0.9	14.3% ▲1.0	18.7% ▲2.8	12.0% ▲0.2	7.7% ▲0.1	1.3% ▲0.3
教育期後期	62.2% ▲6.3	46.7% ▲10.1	47.8% ▲12.1	62.2% ▲1.5	36.1% ▲1.0	53.9% ▲4.8	6.7% ▲0.4	10.0% ▲0.2	15.0% ▲1.6	14.4% ▲1.3	10.0% ▲6.1	3.9% ▲2.4
単身高齢者	61.7% ▲1.8	79.0% ▲5.5	21.0% ▲3.1	24.7% ▲5.3	29.6% ▲6.4	8.6% ▲2.4	2.5% ▲4.3	17.3% ▲12.0	1.2% ▲1.2	6.2% ▲5.2	16.0% ▲2.5	2.5% ▲0.9
高齢者夫婦	62.0% ▲2.0	73.1% ▲6.1	72.7% ▲5.8	33.1% ▲0.9	22.7% ▲3.9	11.7% ▲3.9	0.6% ▲0.3	10.1% ▲2.4	0.6% ▲0.4	7.1% ▲1.1	10.1% ▲1.8	3.9% ▲1.9

(注) 集計結果は「県全体」の平成22年度の結果が多い項目順に並べている。

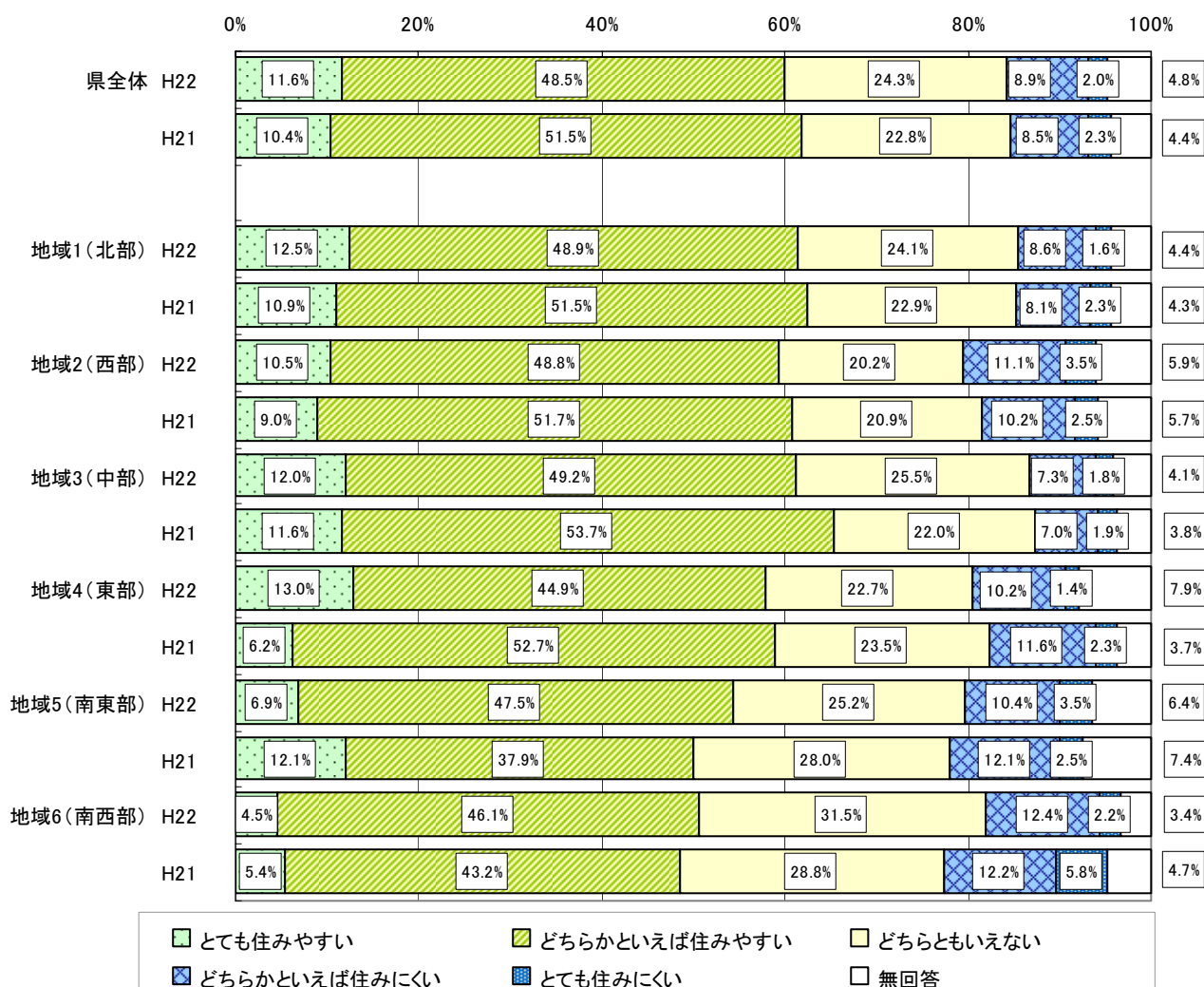
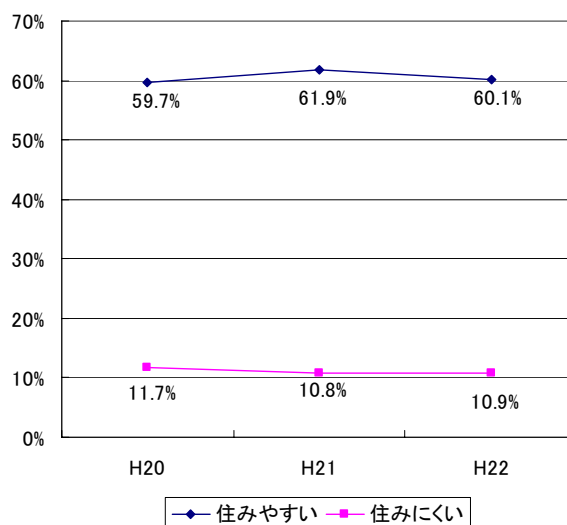
太字は「その他」を除いた平成22年度の結果の各属性区分の上位3項目(斜体は同率)を示し、下線を付した数値は最多項目を、斜体は同率であることを示している。また、網かけは平成21年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

1-6 奈良県の住みやすさの評価

◇60.1%が「住みやすい」（「とても住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」と感じており、平成20年度より60%前後で推移しています。一方、「住みにくい」（「とても住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」と感じている人は10.9%となっています。

◇地域別にみると、「地域1（北部）」と「地域3（中部）」では「住みやすい」と感じている人が「県全体」よりも多く、「地域1（北部）」は61.4%と最も多くなっています。一方、「住みにくい」と感じている人は「地域2（西部）」と「地域6（南西部）」で14.6%と最も多くなっています。

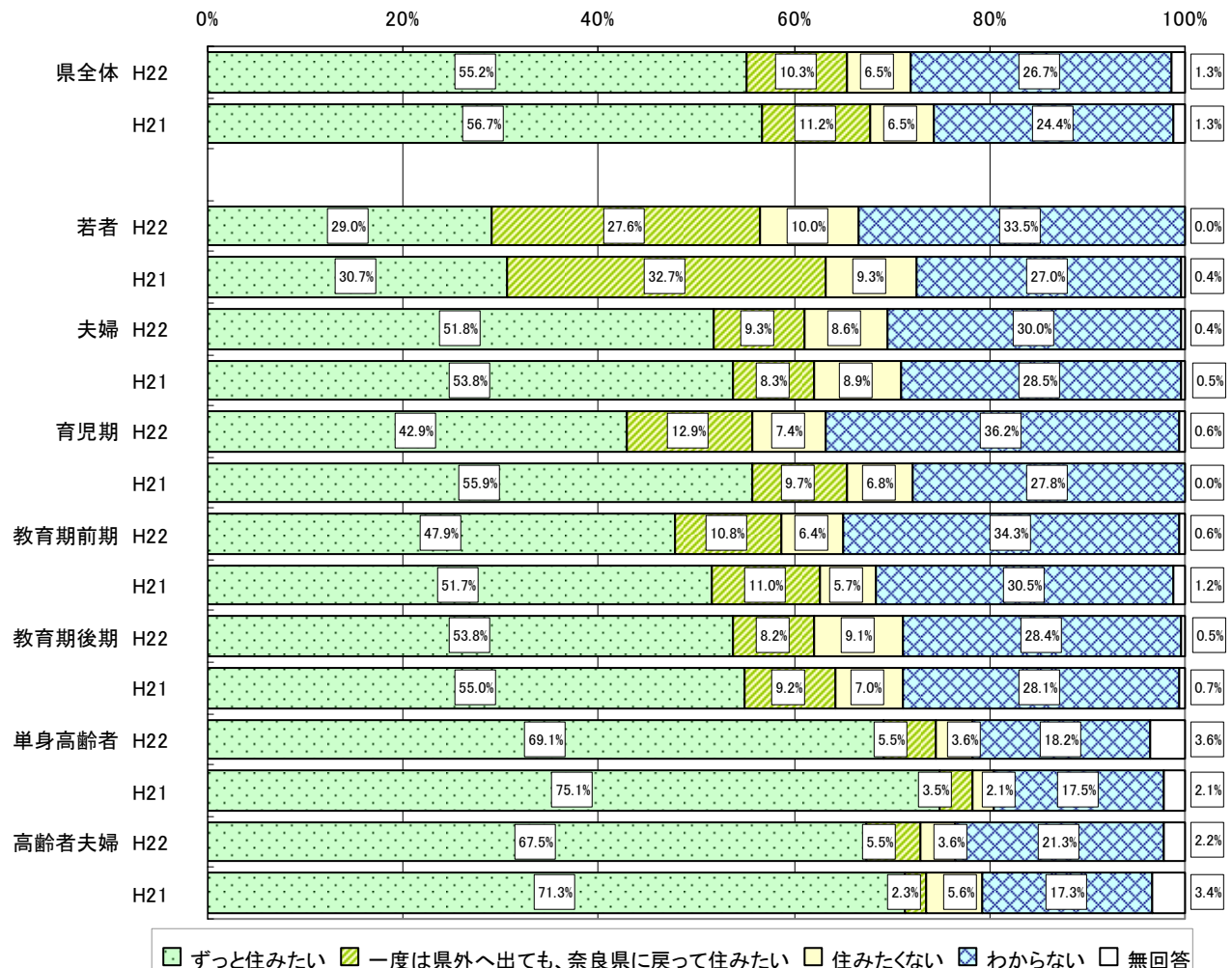
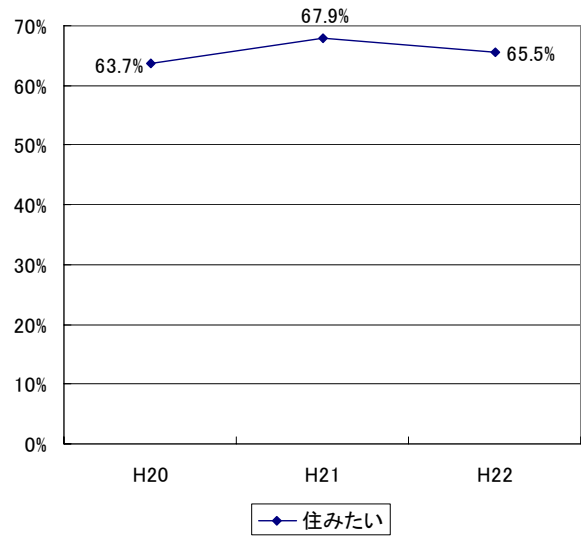
平成21年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「地域3（中部）」（4.1ポイント減）で最も減少しており、「地域5（南東部）」（4.4ポイント増）で最も増加しています。



1-7 将来の奈良県での定住意向

◇55.2%が「ずっと住みたい」と回答しています。また、10.3%が「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えていることから、65.5%が奈良県に「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」）と考えており、平成20年度より65%前後で推移しています。

◇ライフステージ別にみると、「若者」では「ずっと住みたい」と考えている人が最も少なくなっている一方で、「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多く、奈良県に「住みたい」と考えている「若者」は56.6%となっています。平成21年度と比較すると、全てのライフステージで「住みたい」と考えている人は減少しており、「育児期」（9.8ポイント減）や「若者」（6.8ポイント減）で減少幅が大きくなっています。



1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由

◇前年度の結果と同様、「医療が充実していないから」と「買物など日常の生活環境が整っていないから」が上位2項目となっています。

◇ライフステージ別にみると、「若者」では「買物など日常の生活環境が整っていないから」と「通勤・通学に不便だから」が同率で、「単身高齢者」では「買物など日常の生活環境が整っていないから」と「福祉サービスが充実していないから」が同率で、他のライフステージでは「医療が充実していないから」が最も多くなっています。

平成21年度と比較すると、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では、「買物など日常の生活環境が整っていないから」が5ポイント以上増加しています。

(上段：平成22年度結果、下段：前年度からの増減値)

	医療が充実していないから	買物など日常の生活環境が整っていないから	福祉サービスが充実していないから	通勤・通学に不便だから	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	教育環境が充実していないから	災害を防ぐための対策が不十分だから	治安を守るための対策が不十分だから	家賃など住居費が高いから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境が良くないから	緑などの自然環境が良くないから	その他	
県全体	45.5%	39.2%	32.1%	30.3%	23.2%	20.7%	13.5%	12.4%	10.5%	8.1%	7.2%	3.5%	22.4%	
若者	37.5%	45.8%	21.9%	45.8%	24.0%	15.6%	19.8%	6.3%	6.3%	7.3%	3.1%	1.0%	25.0%	
夫婦	50.9%	34.3%	38.0%	25.0%	21.3%	22.2%	7.4%	12.0%	7.4%	8.3%	7.4%	2.8%	28.7%	
ライフステージ別	育児期	43.7%	33.8%	22.5%	32.4%	25.4%	23.9%	32.4%	9.9%	7.0%	5.6%	5.6%	7.0%	19.7%
教育期前期	49.0%	29.3%	28.6%	32.7%	23.1%	21.1%	29.3%	10.9%	9.5%	7.5%	2.7%	2.0%	23.8%	
教育期後期	51.3%	32.1%	37.2%	34.6%	15.4%	26.9%	12.8%	9.0%	3.8%	6.4%	7.7%	1.3%	26.9%	
単身高齢者	25.0%	33.3%	33.3%	4.2%	25.0%	8.3%	8.3%	20.8%	8.3%	4.2%	4.2%	4.2%	29.2%	
高齢者夫婦	49.0%	47.1%	45.2%	8.7%	24.0%	29.8%	4.8%	20.2%	21.2%	10.6%	7.7%	5.8%	12.5%	

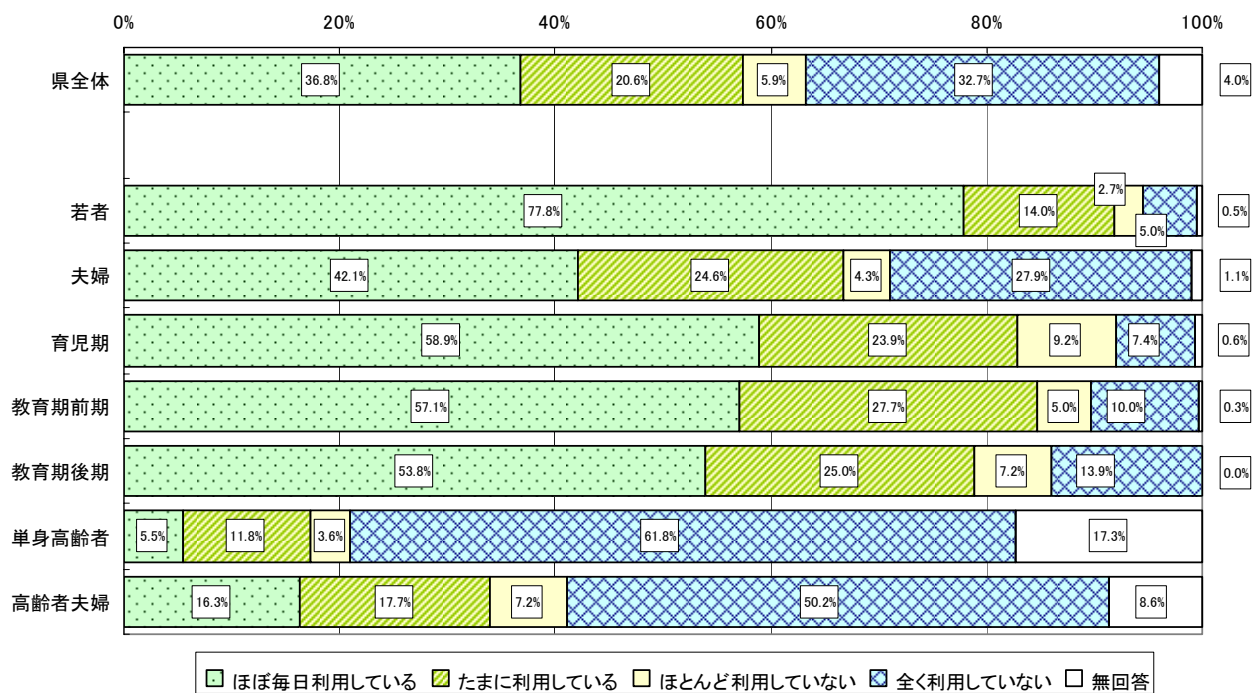
(注) 集計結果は「県全体」の平成22年度の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた平成22年度の結果の各属性区分の上位3項目（斜体は同率）を示し、下線を付した数値は最多項目を、斜体は同率であることを示している。また、網かけは平成21年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

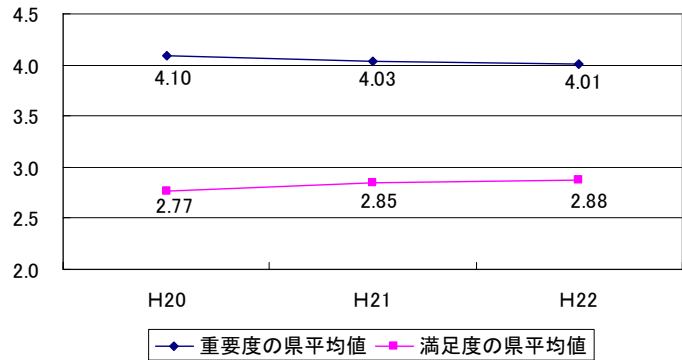
1-9 インターネットの利用状況

◇「利用している」（「ほぼ毎日利用している」＋「たまに利用している」）人は57.4%で、「利用していない」（「ほとんど利用していない」＋「全く利用していない」）人は38.6%となっています。

◇ライフステージ別にみると、「利用している」人は「若者」（91.8%）が最も多く、「夫婦」、「育児期」、「教育期前期」、「教育期後期」でも多く利用されています。一方で、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」の利用は少なく、特に「単身高齢者」では17.3%となっています。



◇県民の身近な生活に関する31項目の重要度と満足度の県平均値の推移を見ると、重要度の平均値は年々低下し、満足度の平均値は年々増加しています。このことから県民の身近な生活にかかわる状況は良くなっていると考えられます。



【身近な生活に関する31項目の重要度・満足度・ニーズ得点（3年間の比較）】

項目番号	項目	項目の略称	重要度			満足度			ニーズ得点			重要度と満足度の関係		
			H22	H21	H20	H22	H21	H20	H22	H21	H20	H22	H21	H20
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.91	3.85	3.73	3.10	3.01	3.01	11.37	11.52	11.18	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.12	4.08	4.09	3.09	3.03	2.95	12.00	12.13	12.46	A	A	B
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.34	3.35	3.35	2.94	2.95	2.87	10.22	10.22	10.48	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.34	3.33	3.38	3.09	3.08	2.95	9.72	9.72	10.32	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.97	3.97	4.22	2.89	2.88	2.83	12.34	12.38	13.37	B	B	A
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.81	3.82	3.94	2.87	2.87	2.80	11.94	11.96	12.62	C	B	B
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.41	4.45	4.60	2.90	2.89	2.64	13.69	13.85	15.43	A	A	D
8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	4.01	3.99	3.97	3.51	3.49	3.40	10.00	10.02	10.31	A	B	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.84	3.86	3.97	2.99	2.98	2.99	11.58	11.64	11.95	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.51	3.55	3.64	2.88	2.85	2.84	10.96	11.16	11.52	B	B	B
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.36	4.39	4.55	2.79	2.76	2.52	14.02	14.22	15.81	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.33	4.34	4.46	3.25	3.18	2.76	11.90	12.24	14.43	A	A	D
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.13	4.14	4.31	2.76	2.72	2.52	13.40	13.59	15.00	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.51	4.56	4.65	3.03	3.02	2.62	13.39	13.60	15.74	A	A	D
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活力・魅力があること	3.85	3.84	3.69	2.65	2.66	2.63	12.89	12.85	12.45	C	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.10	3.10	3.22	2.85	2.83	2.75	9.76	9.81	10.46	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.68	3.73	4.02	2.78	2.76	2.84	11.85	12.09	12.69	C	C	B
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.07	4.13	4.18	2.52	2.45	2.39	14.16	14.66	15.08	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.61	4.66	4.66	2.70	2.68	2.62	15.22	15.47	15.77	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.40	4.46	4.58	2.51	2.43	2.35	15.38	15.93	16.75	D	D	D
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.18	4.19	4.17	2.75	2.74	2.69	13.57	13.65	13.83	D	D	D
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.39	4.43	4.35	2.82	2.78	2.73	13.95	14.26	14.24	D	D	D
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.22	4.23	4.25	2.71	2.67	2.60	13.90	14.09	14.45	D	D	D
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.23	4.25	4.29	2.92	2.93	2.90	13.03	13.05	13.28	A	A	A
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.01	4.00	4.18	2.94	2.87	2.70	12.26	12.49	13.79	A	B	D
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.94	3.96	3.98	3.16	3.14	3.25	11.18	11.34	10.94	B	B	B
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.80	3.93	4.15	2.80	2.74	2.64	12.18	12.81	13.93	C	C	D
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.93	4.01	4.28	3.11	3.05	3.08	11.36	11.82	12.50	B	B	A
29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.36	4.41	4.40	2.51	2.47	2.62	15.25	15.56	14.87	D	D	D
30	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.79	3.82	3.80	2.98	2.95	2.95	11.44	11.64	11.61	B	B	B
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.05	4.09	3.90	2.48	2.47	2.47	14.23	14.45	13.76	D	D	C

(注)「重要度と満足度の関係」の前回と今回のA～Dの記号の対応については、前ページの「重要度と満足度の関係図」のA～Dの象限に対応している。
網かけをした項目は満足度が31項目の平均値を下回るものであり、ピンク色の網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの、すなわち重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目である。

2-2 地域別の重要度・満足度の比較

(1) 県全体及び地域別の重要度上位5項目の傾向

◇重要度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がない社会づくり」（「地域4（東部）」の第2位）と、「防災対策の充実」（「地域2（西部）」の第5位、「地域5（南東部）」の第4位、「地域6（南西部）」の第3位）となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診て もらえる医療機関 4.61	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.51	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.41	安心できる 周産期医療体制 4.40	適切な介護 サービスの充実 4.39
地域1 (北部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.62	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.57	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.43	安心できる 周産期医療体制 4.40	適切な介護 サービスの充実 4.39
地域2 (西部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.66	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.57	適切な介護 サービスの充実 4.49	安心できる 周産期医療体制 4.40	防災対策の充実 4.37
地域3 (中部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.63	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.49	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.46	安心できる 周産期医療体制 4.44	適切な介護 サービスの充実 4.38
地域4 (東部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.54	失業の不安が ない社会づくり 4.43	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.40	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.37	安心できる 周産期医療体制 4.36
地域5 (南東部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.51	適切な介護 サービスの充実 4.40	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.35	防災対策の充実 4.31	安心できる 周産期医療体制 4.31
地域6 (南西部)	急病時に診て もらえる医療機関 4.56	安心できる 周産期医療体制 4.44	防災対策の充実 4.36	適切な介護 サービスの充実 4.30	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.29

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及び地域別の満足度上位5項目の傾向

◇満足度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「公共交通の利便性」(「地域1(北部)」の第2位、「地域3(中部)」の第4位)、「平日の渋滞解消」(「地域2(西部)」の第5位、「地域4(東部)」の第2位、「地域5(南東部)」の第5位、「地域6(南西部)」の第2位)、「犯罪にあう不安のない暮らし」(「地域5(南東部)」の第4位)、「休日の渋滞解消」(「地域6(南西部)」の第5位)となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存 3.51	食品・薬品等の安全性の確保 3.25	地域の景観・町並の美しさ 3.16	ゴミのリサイクルの促進 3.11	品揃えの豊富な店 3.10
地域1(北部)	文化遺産や史跡の保存 3.54	公共交通の利便性 3.33	食品・薬品等の安全性の確保 3.29	地域の景観・町並の美しさ 3.21	品揃えの豊富な店 3.16
地域2(西部)	文化遺産や史跡の保存 3.58	食品・薬品等の安全性の確保 3.27	地域の景観・町並の美しさ 3.18	ゴミのリサイクルの促進 3.13	平日の渋滞解消 3.12
地域3(中部)	文化遺産や史跡の保存 3.45	品揃えの豊富な店 3.34	食品・薬品等の安全性の確保 3.27	公共交通の利便性 3.13	ゴミのリサイクルの促進 3.12
地域4(東部)	文化遺産や史跡の保存 3.46	平日の渋滞解消 3.21	食品・薬品等の安全性の確保 3.19	ゴミのリサイクルの促進 3.16	地域の景観・町並の美しさ 3.12
地域5(南東部)	文化遺産や史跡の保存 3.49	ゴミのリサイクルの促進 3.34	地域の景観・町並の美しさ 3.23	犯罪にあう不安のない暮らし 3.18	平日の渋滞解消 3.13
地域6(南西部)	文化遺産や史跡の保存 3.31	平日の渋滞解消 3.17	ゴミのリサイクルの促進 3.07	地域の景観・町並の美しさ 3.01	休日の渋滞解消 3.00

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及び地域別の満足度下位5項目の傾向

◇満足度下位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「公共交通の利便性」(「地域5(南東部)」の第28位、「地域6(南西部)」の第30位)、「品揃えの豊富な店」(「地域5(南東部)」の第27位)となっています。

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	多様な就業環境の整備 2.48	失業の不安がない社会づくり 2.51	安心できる周産期医療体制 2.51	市町村行政に対する住民意向の反映 2.52	地域に活力・魅力があること 2.65
地域1(北部)	失業の不安がない社会づくり 2.53	多様な就業環境の整備 2.56	市町村行政に対する住民意向の反映 2.57	安心できる周産期医療体制 2.60	地域に活力・魅力があること 2.73
地域2(西部)	市町村行政に対する住民意向の反映 2.48	多様な就業環境の整備 2.50	安心できる周産期医療体制 2.54	失業の不安がない社会づくり 2.59	地域に活力・魅力があること 2.68
地域3(中部)	多様な就業環境の整備 2.46	市町村行政に対する住民意向の反映 2.49	失業の不安がない社会づくり 2.50	安心できる周産期医療体制 2.58	地域に活力・魅力があること 2.70
地域4(東部)	失業の不安がない社会づくり 2.33	多様な就業環境の整備 2.35	安心できる周産期医療体制 2.43	市町村行政に対する住民意向の反映 2.45	地域に活力・魅力があること 2.49
地域5(南東部)	安心できる周産期医療体制 1.90	多様な就業環境の整備 2.24	地域に活力・魅力があること 2.24	公共交通の利便性 2.31	品揃えの豊富な店 2.36
地域6(南西部)	安心できる周産期医療体制 1.82	公共交通の利便性 1.95	市町村行政に対する住民意向の反映 2.09	多様な就業環境の整備 2.21	地域に活力・魅力があること 2.21

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

2-3 ライフステージ別の重要度・満足度の比較

(1) 県全体及びライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

◇重要度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がない社会づくり」（「若者」、「教育期前期」の第4位）、「防災対策の充実」（「若者」、「教育期後期」の第5位）、「食品・薬品等の安全性の確保」（「夫婦」の第5位）、「子どもが健全に育つ環境づくり」（「育児期」の第5位）、「障害者支援サービスの充実」（「単身高齢者」の第5位）となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診て もらえる医療機関 4.61	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.51	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.41	安心できる 周産期医療体制 4.40	適切な介護 サービスの充実 4.39
若者	急病時に診て もらえる医療機関 4.70	安心できる 周産期医療体制 4.67	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.67	失業の不安が ない社会づくり 4.60	防災対策の充実 4.48
夫婦	急病時に診て もらえる医療機関 4.66	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.51	安心できる 周産期医療体制 4.48	適切な介護 サービスの充実 4.44	食品・薬品等の 安全性の確保 4.39
育児期	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.73	急病時に診て もらえる医療機関 4.72	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.66	安心できる 周産期医療体制 4.59	子どもが健全に 育つ環境づくり 4.59
教育期 前期	急病時に診て もらえる医療機関 4.70	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.69	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.66	失業の不安が ない社会づくり 4.50	安心できる 周産期医療体制 4.50
教育期 後期	急病時に診て もらえる医療機関 4.64	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.53	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.44	適切な介護 サービスの充実 4.43	防災対策の充実 4.40
単身 高齢者	急病時に診て もらえる医療機関 4.45	適切な介護 サービスの充実 4.38	安心できる 周産期医療体制 4.30	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.27	障害者支援 サービスの充実 4.20
高齢者 夫婦	急病時に診て もらえる医療機関 4.49	犯罪にあう不安 のない暮らし 4.40	適切な介護 サービスの充実 4.33	子どもの暴力・ いじめの撲滅 4.30	安心できる 周産期医療体制 4.29

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及びライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

◇満足度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「平日の渋滞解消」（「若者」、「夫婦」の第4位、「教育期前期」、「教育期後期」の第5位）、「犯罪にあう不安のない暮らし」（「若者」の第5位）、「公共交通の利便性」（「育児期」の第5位、「高齢者夫婦」の第3位）、「県内で購入可能な商品の充実」（「単身高齢者」の第4位）となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存 3.51	食品・薬品等の安全性の確保 3.25	地域の景観・町並の美しさ 3.16	ゴミのリサイクルの促進 3.11	品揃えの豊富な店 3.10
若者	文化遺産や史跡の保存 3.54	食品・薬品等の安全性の確保 3.34	地域の景観・町並の美しさ 3.18	平日の渋滞解消 3.10	犯罪にあう不安のない暮らし 3.07
夫婦	文化遺産や史跡の保存 3.42	品揃えの豊富な店 3.15	食品・薬品等の安全性の確保 3.13	平日の渋滞解消 3.12	地域の景観・町並の美しさ 3.11
育児期	文化遺産や史跡の保存 3.44	食品・薬品等の安全性の確保 3.28	品揃えの豊富な店 3.15	地域の景観・町並の美しさ 3.15	公共交通の利便性 3.06
教育期前期	文化遺産や史跡の保存 3.54	食品・薬品等の安全性の確保 3.31	品揃えの豊富な店 3.22	地域の景観・町並の美しさ 3.12	平日の渋滞解消 3.03
教育期後期	文化遺産や史跡の保存 3.38	食品・薬品等の安全性の確保 3.18	品揃えの豊富な店 3.05	地域の景観・町並の美しさ 3.05	平日の渋滞解消 3.05
単身高齢者	文化遺産や史跡の保存 3.49	ゴミのリサイクルの促進 3.35	地域の景観・町並の美しさ 3.28	県内で購入可能な商品の充実 3.28	食品・薬品等の安全性の確保 3.24
高齢者夫婦	文化遺産や史跡の保存 3.65	ゴミのリサイクルの促進 3.40	公共交通の利便性 3.35	地域の景観・町並の美しさ 3.31	食品・薬品等の安全性の確保 3.28

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及びライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

◇満足度下位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「県内で購入可能な商品の充実」（「若者」の第27位）、「急病時に診てもらえる医療機関」（「夫婦」、「教育期前期」の第27位、「育児期」の第28位）となっています。

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	多様な就業環境の整備 2.48	失業の不安がない社会づくり 2.51	安心できる周産期医療体制 2.51	市町村行政に対する住民意向の反映 2.52	地域に活力・魅力があること 2.65
若者	多様な就業環境の整備 2.33	失業の不安がない社会づくり 2.36	安心できる周産期医療体制 2.42	市町村行政に対する住民意向の反映 2.54	県内で購入可能な商品の充実 2.62
夫婦	市町村行政に対する住民意向の反映 2.40	安心できる周産期医療体制 2.43	多様な就業環境の整備 2.43	失業の不安がない社会づくり 2.51	急病時に診てもらえる医療機関 2.60
育児期	市町村行政に対する住民意向の反映 2.49	多様な就業環境の整備 2.50	失業の不安がない社会づくり 2.57	急病時に診てもらえる医療機関 2.60	安心できる周産期医療体制 2.62
教育期前期	多様な就業環境の整備 2.36	安心できる周産期医療体制 2.44	市町村行政に対する住民意向の反映 2.45	失業の不安がない社会づくり 2.47	急病時に診てもらえる医療機関 2.52
教育期後期	市町村行政に対する住民意向の反映 2.38	失業の不安がない社会づくり 2.43	多様な就業環境の整備 2.43	安心できる周産期医療体制 2.44	地域に活力・魅力があること 2.50
単身高齢者	安心できる周産期医療体制 2.63	失業の不安がない社会づくり 2.66	多様な就業環境の整備 2.68	地域に活力・魅力があること 2.69	市町村行政に対する住民意向の反映 2.75
高齢者夫婦	失業の不安がない社会づくり 2.74	多様な就業環境の整備 2.74	地域に活力・魅力があること 2.76	安心できる周産期医療体制 2.76	市町村行政に対する住民意向の反映 2.77

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

3 買物やサービスの利用に関する意識やニーズについて

3-1 日常の食料品・日用品の買物

(1) よく利用する店舗

◇「総合・食品スーパー」(88.3%)が最も多く、次いで「大規模なショッピングセンター(モール)」(49.5%)、「コンビニエンスストア」(29.0%)となっています。

◇地域別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「地域1(北部)」では「百貨店」が、「地域5(南東部)」では「商店街以外の一般小売店」が、「地域6(南西部)」では「生協等の宅配サービス」が第3位となっています。

◇ライフステージ別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「若者」および「単身高齢者」では「コンビニエンスストア」が、「夫婦」および「高齢者夫婦」では「百貨店」が、「育児期」、「教育期前期」、「教育期後期」では「生協等の宅配サービス」が第3位となっています。

		総合・食品スーパー	大規模なショッピングセンター(モール)	コンビニエンスストア	生協等の宅配サービス	百貨店	商店街以外の一般小売店	商店街の一般小売店	その他
県全体		88.3%	49.5%	29.0%	24.6%	24.5%	12.4%	10.9%	2.2%
地域別	地域1(北部)	87.8%	55.1%	24.5%	24.8%	30.2%	10.6%	12.3%	1.7%
	地域2(西部)	94.8%	43.9%	32.4%	25.4%	19.9%	12.5%	10.5%	2.1%
	地域3(中部)	90.8%	52.9%	30.3%	24.4%	22.4%	9.6%	8.0%	1.1%
	地域4(東部)	88.9%	43.5%	38.4%	23.1%	20.4%	9.7%	10.2%	3.2%
	地域5(南東部)	76.7%	25.2%	36.1%	22.3%	10.4%	33.2%	13.9%	7.4%
	地域6(南西部)	80.9%	27.0%	36.0%	30.3%	13.5%	21.3%	10.1%	5.6%
ライフステージ別	若者	76.0%	73.3%	57.5%	16.3%	15.4%	10.9%	2.3%	2.7%
	夫婦	91.8%	45.0%	20.0%	29.6%	30.7%	15.0%	7.9%	3.2%
	育児期	90.8%	74.8%	22.7%	33.7%	17.8%	9.8%	4.9%	1.8%
	教育期前期	94.7%	65.4%	26.0%	33.8%	11.6%	10.8%	4.7%	0.8%
	教育期後期	95.2%	53.8%	28.4%	30.8%	20.7%	9.6%	8.7%	1.9%
	単身高齢者	73.6%	24.5%	23.6%	20.9%	20.9%	17.3%	21.8%	6.4%
	高齢者夫婦	87.8%	40.2%	23.7%	18.2%	37.1%	17.9%	18.7%	2.2%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

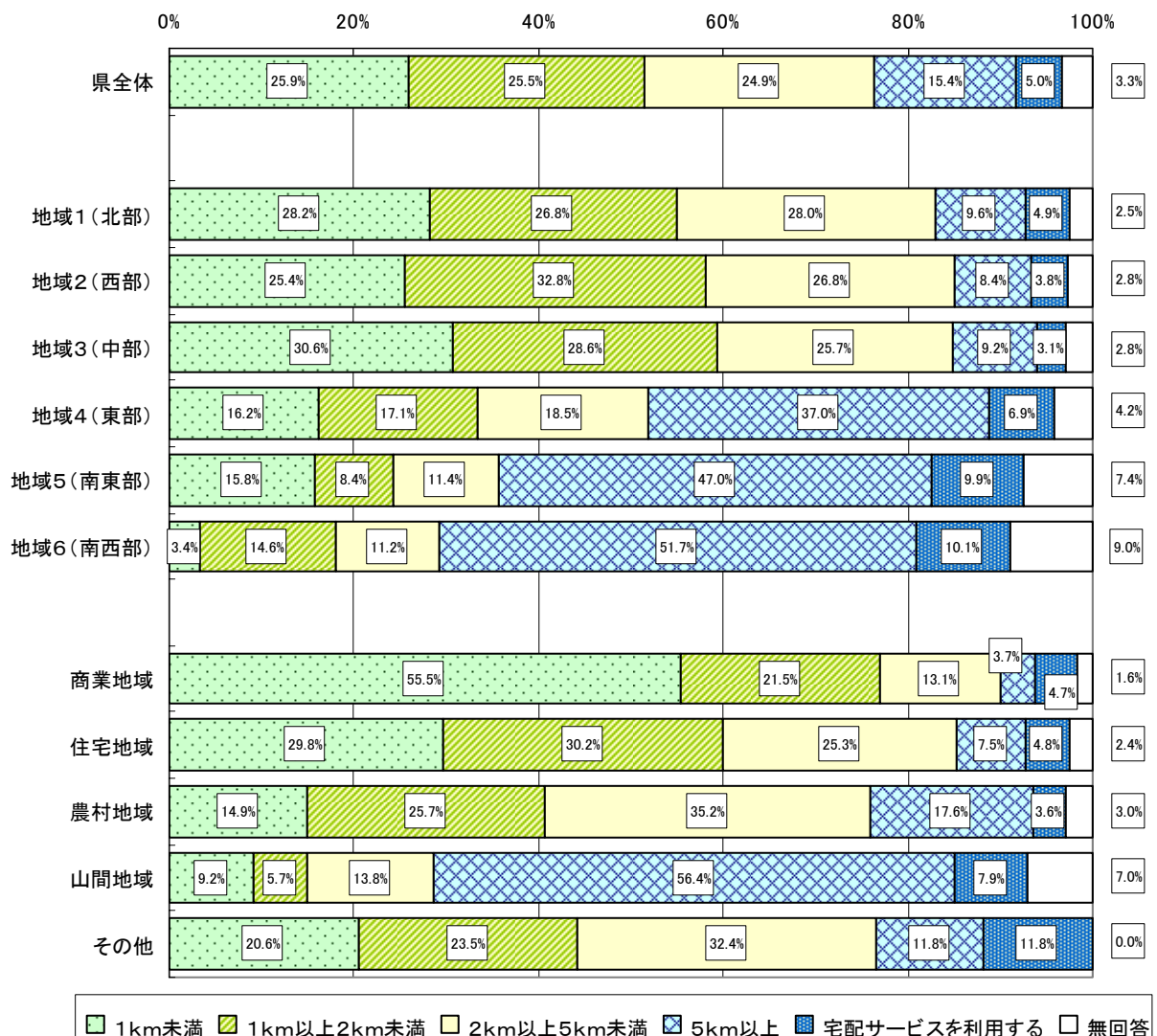
太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

(2) 最もよく利用する店舗と自宅の距離

◇「1 km未満」、「1 km以上 2 km未満」、「2 km以上 5 km未満」がおおよそ25%ずつを占めており、「5 km以上」がおおよそ15%、「宅配サービスを利用する」がおおよそ5%となっています。

◇地域別にみると、「地域1（北部）」、「地域2（西部）」、「地域3（中部）」では5 km未満の店舗を利用する人が80%を超えていますが、「地域4（東部）」、「地域5（南東部）」、「地域6（南西部）」では5 km未満の店舗を利用する人は少なく、「5 km以上」の店舗を利用する人が最も多くなっています。

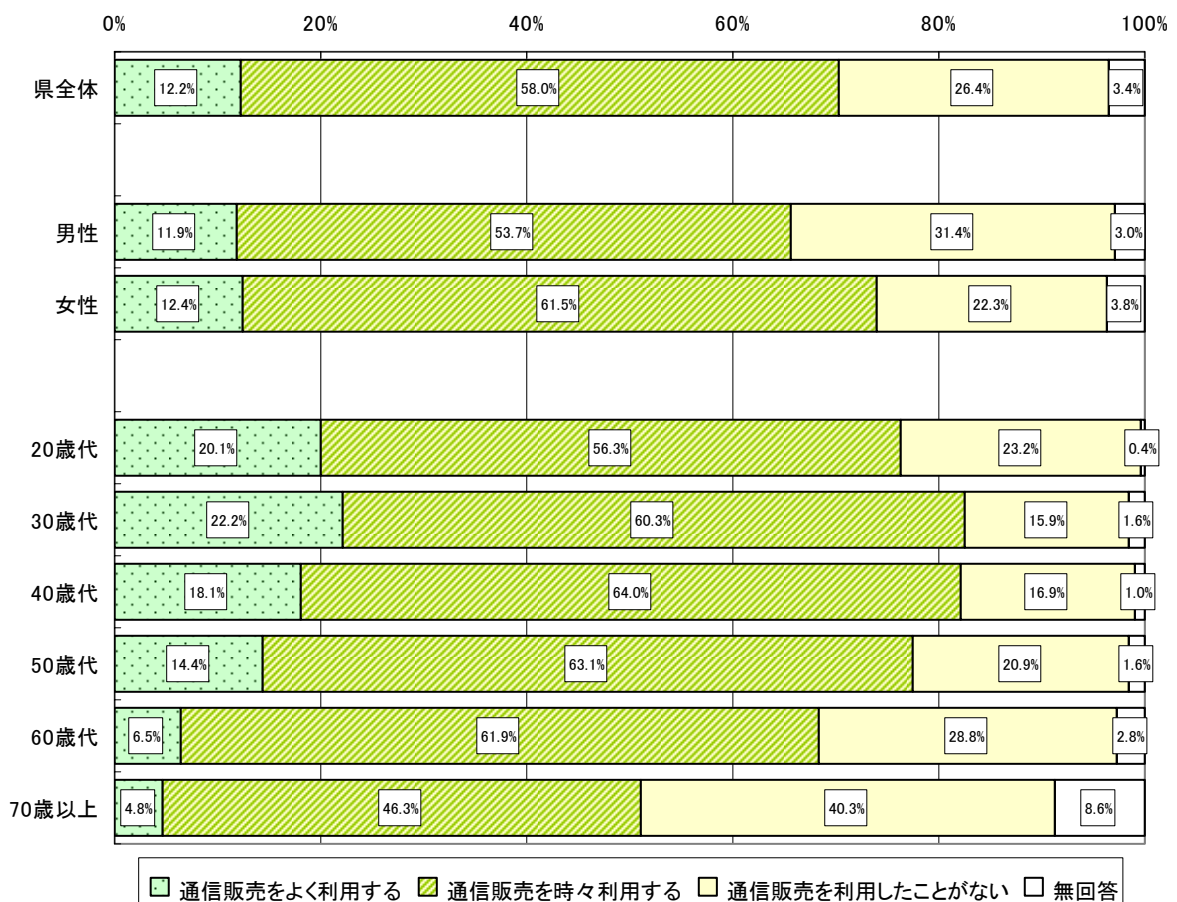
◇居住地域の状況別にみると、「商業地域」では「1 km未満」の店舗を利用する人が50%を超えています。「農村地域」では「2 km以上 5 km未満」が、「山間地域」では「5 km以上」の店舗を利用する人が最も多くなっています。



3-2 通信販売

(1) 過去1年間の利用状況

- ◇「通信販売を利用する」(「通信販売をよく利用する」+「通信販売を時々利用する」)人が70.2%、「通信販売を利用したことがない」人が26.4%となっています。
- ◇性別にみると、「男性」(65.6%)より「女性」(73.9%)が通信販売を利用しています。
- ◇年齢別にみると、「50歳代」以下で「通信販売を利用する」人が多い一方で、「60歳代」以上(特に「70歳以上」)では「通信販売を利用する」人(60歳代：68.4%、70歳以上：51.1%)が少なくなっています。



(2) 購入した商品

- ◇「衣料品（普段着・下着・肌着）」（36.9%）が最も多く、次いで「衣料品（外出着・おしゃれ着）」（33.1%）、「医薬品・化粧品」（32.2%）の順で多く、多様な商品が購入されています。
- ◇性別にみると、「女性」は県全体の傾向と大差はありませんが、「男性」では「本・ビデオ・CD・DVD」と「家電製品（パソコン・テレビ等）」が上位2項目を占めています。
- ◇年齢別にみると、「30歳代」、「40歳代」、「70歳以上」では「衣料品（普段着・下着・肌着）」が最も多くなっていますが、「20歳代」では「本・ビデオ・CD・DVD」が、「50歳代」、「60歳代」では「医薬品・化粧品」が最も多くなっています。

	衣料品（普段着・下着・肌着）	衣料品（外出着・おしゃれ着）	医薬品・化粧品	食料品（生鮮食品以外）	本・ビデオ・CD・DVD	服飾雑貨品（靴・かばん等）	日用雑貨品（台所用品等）	家電製品（パソコン・テレビ等）	家具・インテリア	食料品（生鮮食品）	贈答品	スポーツ・レジャー用品	
県全体	36.9%	33.1%	32.2%	26.0%	25.8%	20.6%	20.0%	19.2%	16.8%	15.7%	15.2%	11.1%	
性別	男性	25.3%	26.9%	22.9%	23.5%	33.5%	15.6%	15.1%	29.6%	15.5%	16.2%	14.0%	19.5%
	女性	45.4%	37.5%	38.9%	27.8%	20.2%	24.2%	23.5%	11.6%	17.7%	15.4%	16.0%	5.0%
年齢別	20歳代	32.2%	40.4%	26.9%	12.3%	46.8%	31.6%	14.6%	16.4%	19.9%	5.3%	12.9%	10.5%
	30歳代	44.9%	43.9%	26.2%	22.9%	35.5%	24.9%	23.3%	20.3%	21.3%	9.0%	13.6%	14.6%
	40歳代	40.9%	34.5%	33.0%	24.1%	36.2%	24.6%	16.2%	25.8%	19.1%	14.5%	16.5%	16.5%
	50歳代	37.4%	31.9%	37.7%	29.1%	23.0%	21.7%	21.2%	20.4%	17.3%	19.1%	14.1%	12.0%
	60歳代	28.6%	29.1%	32.2%	30.9%	18.5%	14.4%	20.0%	20.9%	12.2%	19.8%	14.9%	8.8%
	70歳以上	38.1%	25.7%	33.1%	28.0%	9.3%	13.6%	22.0%	9.6%	14.4%	18.9%	18.1%	5.1%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

(3) 通信販売に対する印象

- ◇「商品を直接見たり、触れたりして確かめられない」(41.7%)が最も多く、第2位の「どこに住んでいても、自分の希望商品を手に入れる」(41.5%)を僅かに上まわっています。また、第3位は「買物にでかける時間や手間が省ける」(28.8%)となっています。
- ◇性別にみると、「男性」では「どこに住んでいても、自分の希望商品を手に入れる」が最も多くなっていますが、「女性」では「商品を直接見たり、触れたりして確かめられない」が最も多くなっています。
- ◇年齢別にみると、「20歳代」から「50歳代」では「どこに住んでいても、自分の希望商品を手に入れる」が最も多くなっていますが、「60歳代」、「70歳以上」では「商品を直接見たり、触れたりして確かめられない」が最も多くなっています。

	確かめられない	どこに住んでいても、自分の希望商品を手に入れる	買物にでかける時間や手間が省ける	商品の代金以外に送料がかかる	24時間いつでも購入注文ができる	注文通りの商品が届くか不安である	商品の値段など比較購入しやすい	通信販売を利用しなくても、必要なものは購入することができる	いろいろな商品を見て歩く楽しみがない	ポイントや割引など特典がある	わからない	
県全体	41.7%	41.5%	28.8%	21.5%	21.1%	20.7%	19.3%	16.4%	7.8%	6.8%	2.1%	
性別	男性	39.4%	41.8%	27.1%	17.8%	22.4%	22.2%	22.8%	19.6%	8.3%	6.1%	2.3%
	女性	43.6%	41.2%	30.2%	24.5%	20.0%	19.4%	16.5%	13.8%	7.4%	7.5%	1.9%
年齢別	20歳代	45.5%	51.8%	32.1%	25.4%	33.5%	19.2%	17.9%	8.9%	6.7%	8.5%	1.3%
	30歳代	38.1%	49.3%	41.1%	20.0%	33.4%	14.2%	25.2%	6.6%	6.0%	11.8%	0.8%
	40歳代	41.9%	48.3%	34.8%	20.7%	32.4%	20.0%	25.2%	10.5%	3.6%	9.3%	0.7%
	50歳代	39.4%	46.9%	32.9%	21.9%	24.9%	21.7%	20.5%	11.0%	4.3%	7.9%	0.4%
	60歳代	45.0%	38.8%	23.4%	23.3%	13.9%	23.0%	19.3%	23.0%	9.7%	3.4%	2.6%
	70歳以上	40.9%	28.7%	19.5%	19.6%	7.8%	22.0%	12.2%	25.5%	12.2%	4.8%	4.6%

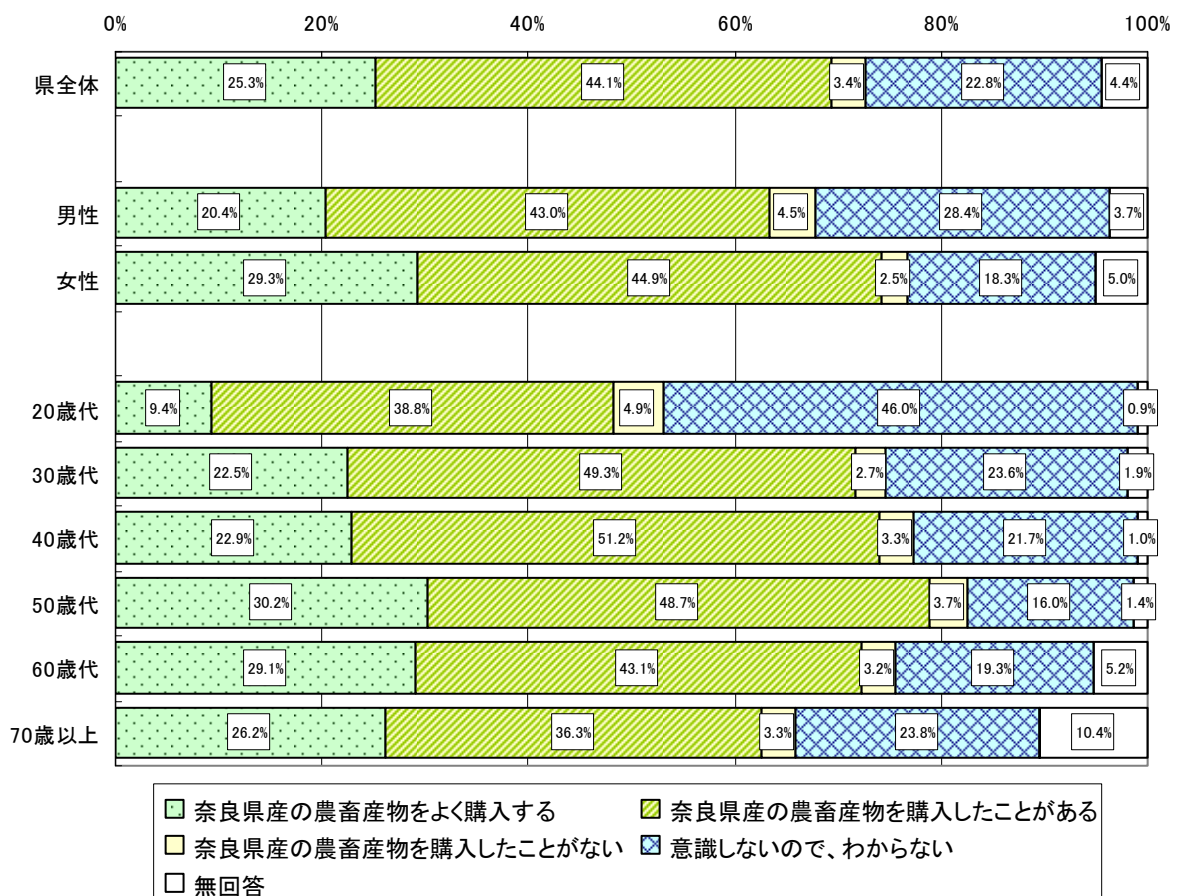
(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

3-3 奈良県産の農畜産物

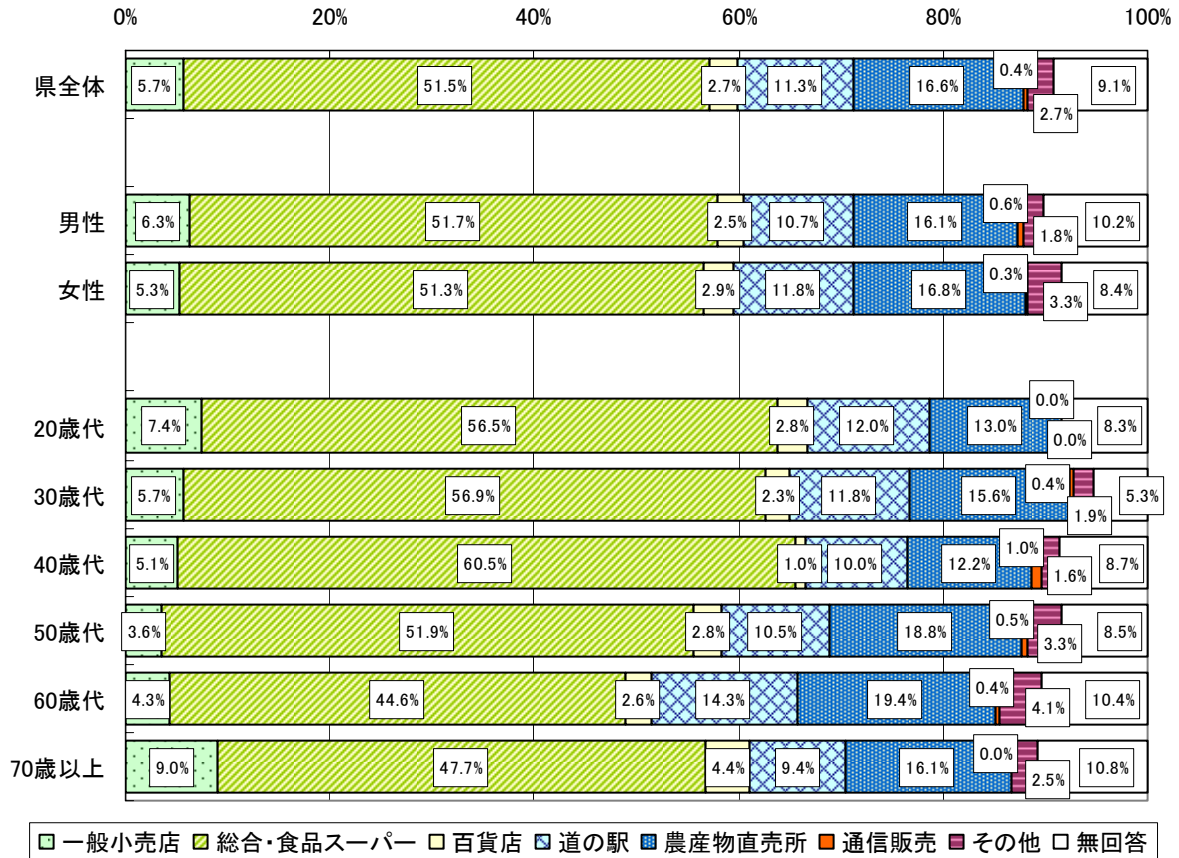
(1) 購入状況

- ◇奈良県産農畜産物を69.4%の人が「購入したことがある」（「よく購入する」＋「購入したことがある」）と回答しています。
- ◇性別にみると、「男性」（63.4%）よりも「女性」（74.2%）に「購入したことがある」人が多くなっています。
- ◇年齢別にみると、「購入したことがある」人は「20歳代」（48.2%）と「70歳以上」（62.5%）で少なくなっています。



(2) 最もよく利用する購入先

- ◇「総合・食品スーパー」(51.5%) が最も多く、次いで「農産物直売所」(16.6%)、「道の駅」(11.3%) などとなっています。
- ◇性別にみると、男女間でほとんど差は見られません。
- ◇年齢別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「60歳代」では「農産物直売所」と「道の駅」で購入する人が多くなっています。

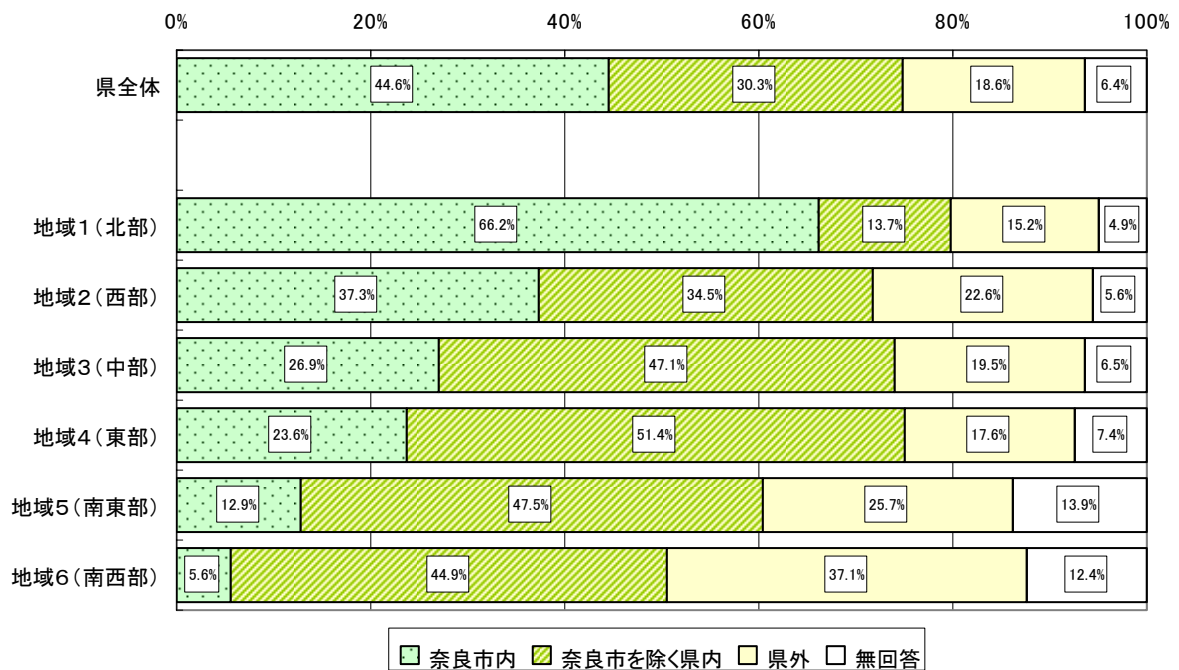


3-4 県内の観光・レクリエーション

(1) 友人や知人をもてなす地域

◇「奈良市内」(44.6%)が最も多く、次いで「奈良市を除く県内」(30.3%)、「県外」(18.6%)となっています。

◇地域別にみると、「地域1(北部)」と「地域2(西部)」では「奈良市内」が最も多くなっていますが、その他の地域では「奈良市を除く県内」が最も多くなっています。また、「地域5(南東部)」や「地域6(南西部)」では「県外」も多くなっています。



(2) 観光・レクリエーションの目的

◇「歴史や文化財に触れる（寺社、世界遺産など）」(61.1%) が最も多く、次いで「美しい景色や風情のある景観」(46.1%)、「飲食」(35.7%)、「四季折々の花見」(32.9%)、「温泉」(26.1%) などとなっています。

◇地域別にみると、「地域1（北部）」から「地域4（東部）」では県全体の傾向と大差はありませんが、「地域5（南東部）」と「地域6（南西部）」では「温泉」が最も多くなっています。

◇年齢別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「20歳代」では「飲食」が、「50歳代」以上では「四季折々の花見」が多くなっています。

	歴史や文化財に触れる（寺社、世界遺産など）	美しい景色や風情のある景観	飲食	四季折々の花見	温泉	イベント・祭り	ショッピング	ドライブ	美術館・博物館等	山歩き、ハイキング	遊園地	演劇、コンサート鑑賞	都会見物	スポーツ観戦	その他	
県全体	61.1%	46.1%	35.7%	32.9%	26.1%	20.2%	15.9%	14.6%	14.2%	10.1%	5.5%	4.5%	2.5%	2.1%	0.9%	
地域別	地域1(北部)	70.6%	47.3%	36.5%	33.6%	17.3%	21.3%	13.4%	12.6%	20.6%	10.0%	5.4%	4.2%	1.9%	1.7%	0.7%
	地域2(西部)	65.2%	47.7%	40.4%	35.5%	24.4%	15.3%	15.0%	16.0%	12.5%	9.8%	5.9%	2.1%	4.5%	1.7%	1.7%
	地域3(中部)	55.4%	45.8%	35.8%	31.6%	30.3%	17.9%	18.8%	17.1%	9.4%	10.2%	6.3%	3.9%	2.7%	1.8%	0.8%
	地域4(東部)	50.9%	47.7%	31.5%	36.1%	37.0%	28.7%	20.4%	15.7%	6.5%	12.0%	3.7%	7.9%	1.9%	2.3%	0.5%
	地域5(南東部)	36.6%	38.6%	27.2%	30.2%	50.5%	17.3%	16.3%	15.8%	3.5%	10.9%	3.0%	7.4%	3.0%	4.5%	1.5%
	地域6(南西部)	29.2%	37.1%	36.0%	23.6%	49.4%	23.6%	21.3%	15.7%	2.2%	6.7%	7.9%	7.9%	2.2%	5.6%	1.1%
年齢別	20歳代	53.6%	37.5%	42.0%	16.5%	16.1%	33.0%	37.1%	26.3%	6.3%	6.3%	8.0%	3.6%	3.6%	3.1%	1.3%
	30歳代	61.1%	41.4%	38.9%	23.3%	19.2%	26.0%	20.5%	18.6%	7.9%	7.1%	12.3%	4.4%	1.9%	2.5%	1.9%
	40歳代	61.4%	44.5%	39.8%	23.3%	22.4%	26.0%	17.4%	16.4%	8.8%	9.5%	7.4%	3.3%	4.0%	3.8%	1.7%
	50歳代	64.5%	53.1%	36.5%	37.9%	26.8%	20.9%	17.4%	16.6%	15.4%	12.4%	2.0%	3.7%	1.2%	2.6%	0.2%
	60歳代	65.0%	52.1%	35.3%	39.9%	31.6%	16.5%	9.9%	10.9%	18.2%	12.9%	3.9%	5.1%	2.5%	1.1%	0.8%
	70歳以上	57.2%	41.6%	29.3%	39.0%	29.7%	12.5%	10.1%	9.5%	18.6%	9.1%	3.9%	5.6%	2.3%	1.2%	0.4%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

(3) 必要なおもてなし

◇「地域の歴史や魅力について、情報を提供する」(37.2%) が最も多く、次いで「飲食店・交通機関など来訪者に接する人のマナーをよくする」(34.6%)、「笑顔であいさつする」(31.7%)、「花を植えたり、清掃活動をするなど、きれいな街にする」(30.3%)、「困っている方に進んで声をかける」(24.0%)、「現地ガイド・インストラクターなどを充実する」(16.2%) となっています。

その他の意見としては、「普段どおりに接すること」、「英会話の習得」、「優しさの伝わる街づくり」などがありました。

◇地域別にみると、「地域1 (北部)」では「飲食店・交通機関など来訪者に接する人のマナーをよくする」が、「地域2 (西部)」、「地域3 (中部)」、「地域4 (東部)」では「地域の歴史や魅力について、情報を提供する」が、「地域5 (南東部)」、「地域6 (南西部)」では「笑顔であいさつする」が最も多くなっています。

◇年齢別にみると、「60歳代」以下では「地域の歴史や魅力について、情報を提供する」と「飲食店・交通機関など来訪者に接する人のマナーをよくする」が第1位・第2位を占めていますが、「70歳以上」では「笑顔であいさつする」と「困っている方に進んで声をかける」が第1位・第2位となっています。

	地域の歴史や魅力について、情報を提供する	飲食店・交通機関など来訪者に接する人のマナーをよくする	笑顔であいさつする	花を植えたり、きれいな街にするなど、清掃活動をするなど	困っている方に進んで声をかける	現地ガイド・インストラクターなどを充実する	その他	
県全体	37.2%	34.6%	31.7%	30.3%	24.0%	16.2%	2.0%	
地域別	地域1(北部)	36.7%	37.5%	30.0%	30.9%	22.8%	16.6%	2.8%
	地域2(西部)	43.6%	31.0%	29.3%	29.3%	24.7%	19.2%	1.4%
	地域3(中部)	37.8%	37.2%	30.2%	31.6%	22.6%	16.8%	1.3%
	地域4(東部)	38.9%	28.7%	37.5%	28.2%	28.2%	14.4%	0.9%
	地域5(南東部)	31.7%	22.3%	38.6%	26.7%	31.2%	12.4%	1.0%
	地域6(南西部)	28.1%	24.7%	49.4%	27.0%	25.8%	10.1%	1.1%
年齢別	20歳代	40.2%	39.3%	27.7%	31.3%	18.3%	20.1%	3.6%
	30歳代	40.0%	40.8%	26.0%	35.9%	17.0%	18.1%	1.6%
	40歳代	45.0%	41.4%	24.0%	32.4%	19.3%	17.6%	3.3%
	50歳代	39.4%	35.7%	31.4%	33.7%	20.9%	18.9%	2.0%
	60歳代	37.4%	34.2%	29.6%	29.9%	26.0%	16.9%	1.4%
	70歳以上	28.5%	25.4%	42.9%	23.6%	32.6%	10.5%	1.3%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を、斜体は同率であることを示している。

(4) 県内の観光・レクリエーションに足りないもの

◇「宿泊施設の充実」(48.6%)が最も多く、次いで「おいしい食べ物」(39.5%)、「十分な駐車場の確保」(35.8%)、「夜遅くまで営業している飲食店」(29.0%)、「トイレや休憩所の整備」(26.1%)、「道路網の整備」(25.1%)などとなっています。

「その他」では、「明るさや活気」、「景観阻害要因の排除」、「サインの統一」、「デザインされたゴミ箱の設置」、「文化財との調和」、「利益主義の改善」、「安価な駐車場の整備」、「外国語案内板の整備」、「観光業者のサービス心の向上」、「バス停への屋根やベンチの設置」、「飲食店の充実」、「アウトレットモール等の商用施設の充実」、「歴史以外の観光資源」、「若者や老人向けの施設」、「共通一日乗車券」、「共通一日駐車券」、「駐車場の立地改善」、「公共交通機関の連携」、「娯楽施設の整備」、「盛大なイベントの開催」など多様な意見がありました。

◇地域別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「地域1(北部)」では「夜遅くまで営業している飲食店」が、「地域5(南東部)」、「地域6(南西部)」では「道路網の整備」が多くなっています。

◇年齢別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「20歳代」、「30歳代」では「夜遅くまで営業している飲食店」が、「70歳以上」では「トイレや休憩所の整備」が多くなっています。

	宿泊施設の充実	おいしい食べ物	十分な駐車場の確保	夜遅くまで営業している飲食店	トイレや休憩所の整備	道路網の整備	公共交通機関の充実	テレビやマスコミを使った観光資源のPR	高齢者・障害者・外国人への対応	観光ルート・プランの提案	観光地や宿泊施設などの案内所	みやげ物	観光案内板等の充実	その他	
県全体	48.6%	39.5%	35.8%	29.0%	26.1%	25.1%	23.2%	21.1%	19.1%	19.0%	14.3%	14.0%	11.1%	3.2%	
地域別	地域1(北部)	51.3%	43.2%	38.7%	39.0%	23.5%	24.2%	21.7%	19.4%	17.4%	17.2%	12.6%	12.8%	10.9%	3.4%
	地域2(西部)	48.1%	40.1%	28.9%	25.4%	23.7%	24.4%	24.0%	22.0%	22.3%	27.2%	17.1%	15.7%	11.1%	4.5%
	地域3(中部)	47.4%	38.2%	33.0%	20.2%	28.5%	23.0%	23.3%	23.7%	18.5%	20.2%	15.0%	17.2%	11.1%	2.8%
	地域4(東部)	52.3%	32.9%	38.9%	18.1%	31.9%	21.3%	23.6%	25.0%	23.1%	20.8%	17.6%	10.6%	13.9%	2.3%
	地域5(南東部)	40.6%	29.7%	34.7%	15.3%	30.7%	37.6%	28.2%	16.8%	23.8%	15.3%	14.9%	14.4%	8.4%	2.5%
	地域6(南西部)	29.2%	30.3%	31.5%	18.0%	29.2%	39.3%	29.2%	22.5%	19.1%	14.6%	15.7%	10.1%	13.5%	3.4%
年齢別	20歳代	46.4%	40.6%	25.4%	46.0%	21.4%	21.9%	32.1%	22.3%	20.1%	22.8%	8.9%	14.7%	12.9%	5.8%
	30歳代	47.1%	41.6%	31.0%	34.8%	21.1%	29.6%	26.8%	23.8%	12.6%	26.0%	8.5%	18.1%	7.7%	3.8%
	40歳代	52.4%	46.7%	35.5%	35.2%	14.8%	26.7%	22.4%	26.4%	14.3%	17.9%	11.2%	17.6%	8.8%	4.8%
	50歳代	50.7%	44.2%	36.1%	32.9%	25.8%	26.4%	23.7%	23.5%	16.0%	18.7%	14.8%	14.6%	12.4%	2.8%
	60歳代	49.6%	36.7%	41.9%	25.0%	27.6%	27.0%	23.6%	21.6%	21.7%	19.7%	17.3%	10.9%	10.9%	2.9%
	70歳以上	45.5%	33.1%	35.9%	18.0%	35.9%	20.5%	17.9%	13.8%	24.8%	14.1%	17.3%	12.1%	13.0%	1.7%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

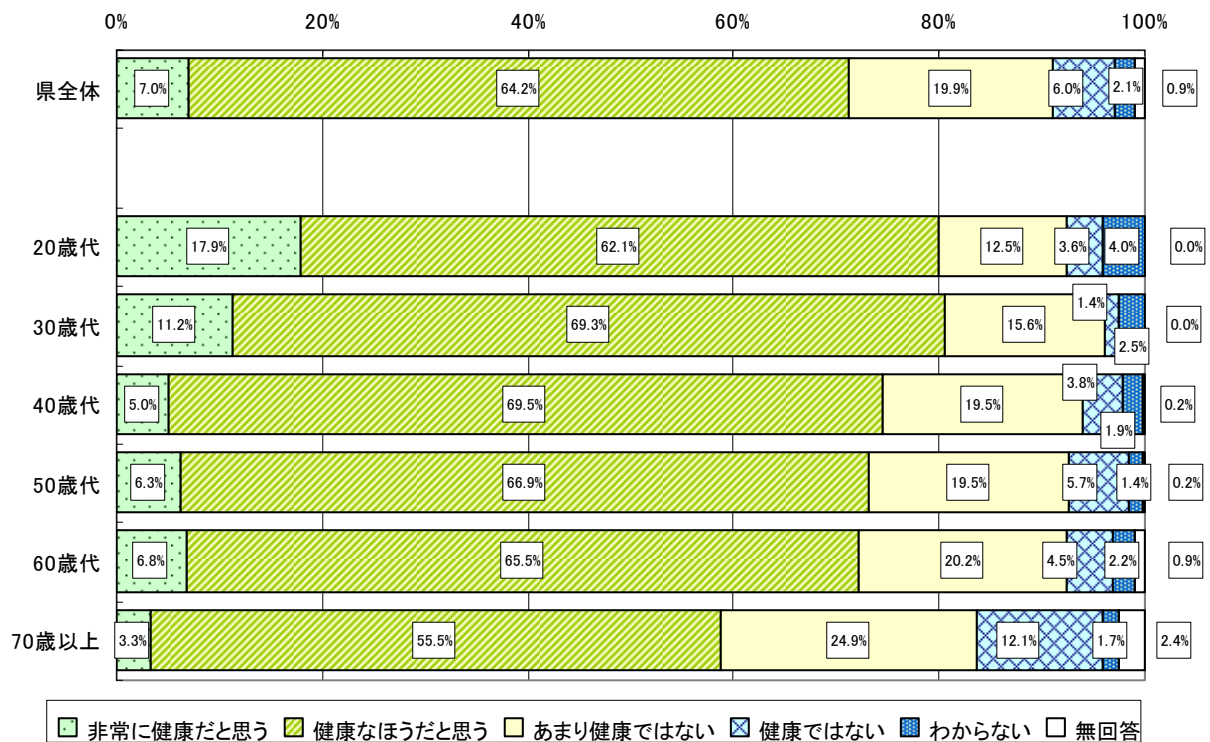
太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を、斜体は同率であることを示している。

4 健康づくりに関する意識やニーズについて

4-1 現在の健康状態

◇「健康である」（「非常に健康だと思う」＋「健康なほうだと思う」）が71.2%、「健康でない」（「あまり健康ではない」＋「健康ではない」）が25.9%となっています。

◇年齢別にみると、「健康である」人は「30歳代」（80.5%）で最も多く、「70歳以上」（58.8%）で最も少なくなっています。また、「非常に健康だと思う」人は「20歳代」、「30歳代」で多く、「健康ではない」人は「70歳以上」（37.0%）で多くなっています。



4-2 健康のために行っている運動の種類

◇「ウォーキング（ハイキング、散歩、通勤時の徒歩など）」（69.3%）が最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、ヨガ、エアロビクスなど）」（22.6%）、「室内運動器具を使ってする運動」（10.5%）、「ゴルフ（練習を含む）」（9.9%）、「球技（テニス、野球、サッカー、バレーボールなど）」（8.7%）などとなっています。

◇年齢別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「20歳代」では「球技（テニス、野球、サッカー、バレーボールなど）」や「ランニング（ジョギング）」が、「30歳代」では「球技（テニス、野球、サッカー、バレーボールなど）」が、「50歳代」、「60歳代」では「ゴルフ（練習を含む）」が多くなっています。

	ウォーキング（ハイキング、散歩、通勤時の徒歩など）	体操（ラジオ体操、ヨガ、エアロビクスなど）	室内運動器具を使ってする運動	ゴルフ（練習を含む）	球技（テニス、野球、サッカー、バレーボールなど）	サイクリング	ランニング（ジョギング）	水泳	ゲートボール、グラウンドゴルフ	ダンス（社交ダンス、フォークダンスなど）	その他	
県全体	69.3%	22.6%	10.5%	9.9%	8.7%	7.3%	7.0%	6.3%	3.9%	2.6%	6.5%	
年齢別	20歳代	55.2%	10.4%	6.0%	6.0%	26.9%	14.9%	25.4%	0.0%	0.0%	1.5%	11.9%
	30歳代	62.4%	17.4%	11.9%	10.1%	15.6%	12.8%	12.8%	5.5%	0.0%	3.7%	2.8%
	40歳代	63.8%	17.7%	14.6%	6.9%	10.8%	10.0%	9.2%	3.8%	0.0%	3.8%	6.9%
	50歳代	68.2%	22.7%	8.1%	13.7%	7.6%	5.7%	7.1%	5.2%	0.9%	1.9%	3.3%
	60歳代	75.2%	25.1%	11.0%	11.5%	8.7%	6.5%	3.9%	8.7%	3.4%	2.0%	6.2%
	70歳以上	71.0%	26.0%	10.5%	7.5%	2.7%	4.8%	3.6%	6.9%	9.9%	3.0%	8.7%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

4-3 運動をしない理由

◇「仕事が忙しくて時間がないから」(40.5%)が最も多く、次いで「きっかけがつかめないから」(22.6%)、「めんどうだから」(21.3%)、「身近なところに施設や場所がないから」(21.2%)、「家事が忙しくて時間がないから」(19.0%)、「特に理由はない」(17.0%)などとなっています。

◇地域別にみると、各地域とも「仕事が忙しくて時間がないから」が最も多くなっていますが、「地域2(西部)」、「地域4(東部)」、「地域5(南東部)」、「地域6(南西部)」では「身近なところに施設や場所がないから」が第2位となっています。

◇年齢別にみると、「60歳代」以下では「仕事が忙しくて時間がないから」が最も多くなっていますが、「70歳以上」では「病弱あるいは体力的に無理だから」が最も多くなっています。また、「30歳代」では「育児や介護があるから」が2番目に多くなっています。

	仕事が忙しくて時間がないから	きっかけがつかめないから	めんどうだから	身近なところに施設や場所がないから	家事が忙しくて時間がないから	特に理由はない	病弱あるいは体力的に無理だから	費用がかかるから	運動が好きではないから	育児や介護があるから	一緒に運動する仲間がないから	十分健康であり、特に必要がないから	
県全体	40.5%	22.6%	21.3%	21.2%	19.0%	17.0%	14.9%	12.5%	12.1%	11.2%	11.2%	6.9%	
地域別	地域1(北部)	40.2%	24.1%	20.9%	18.4%	19.5%	16.2%	14.2%	12.8%	13.1%	12.4%	11.2%	6.8%
	地域2(西部)	39.7%	18.4%	19.1%	19.9%	13.5%	19.9%	14.9%	13.5%	11.3%	12.8%	12.8%	7.8%
	地域3(中部)	43.9%	21.3%	25.1%	21.8%	21.8%	16.9%	13.4%	13.4%	12.7%	12.2%	8.2%	5.5%
	地域4(東部)	38.3%	23.3%	22.6%	23.3%	15.8%	14.3%	14.3%	12.0%	9.0%	9.0%	14.3%	6.8%
	地域5(南東部)	38.2%	21.1%	11.4%	30.1%	17.1%	19.5%	24.4%	6.5%	8.9%	4.1%	13.8%	11.4%
	地域6(南西部)	31.6%	22.8%	22.8%	29.8%	17.5%	22.8%	14.0%	12.3%	12.3%	7.0%	15.8%	5.3%
年齢別	20歳代	50.0%	23.7%	29.5%	27.6%	9.6%	7.1%	3.2%	16.0%	16.0%	13.5%	11.5%	7.1%
	30歳代	52.4%	21.4%	20.6%	21.8%	27.8%	7.1%	4.0%	17.1%	14.3%	31.0%	10.7%	3.6%
	40歳代	56.1%	22.0%	26.1%	16.7%	25.8%	13.9%	8.4%	19.2%	12.5%	11.1%	10.1%	2.8%
	50歳代	47.5%	25.7%	22.5%	25.7%	19.3%	15.4%	8.2%	12.5%	12.5%	7.9%	11.8%	4.6%
	60歳代	31.7%	27.1%	21.8%	25.0%	15.5%	27.5%	15.1%	8.5%	12.0%	5.6%	13.0%	10.9%
	70歳以上	13.1%	16.6%	11.8%	14.1%	12.8%	24.9%	41.2%	4.2%	8.0%	2.2%	10.2%	11.5%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を、斜体は同率であることを示している。

4-4 内科的な健康診断やがん検診の受診状況

◇「内科的な健康診断（血液検査・尿検査を含むもの）」については71.5%の人が受診していますが、その他では「胃がん検診（バリウム検査など）」が28.5%、「肺がん検診（胸のレントゲン撮影など）」が28.2%、「大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）」が27.2%、「子宮がん検診（細胞診検査など）」が14.1%、「乳がん検診（触診やマンモグラフィ撮影など）」が12.5%、「その他」が3.3%となっています。

◇地域別にみると、受診状況については県全体の傾向と大差はありませんが、「受診していない」人は「地域3（中部）」、「地域4（東部）」、「地域6（南西部）」で県全体より多くなっています。

◇年齢別にみると、受診状況については県全体の傾向と大差はありませんが、「20歳代」と「30歳代」では「子宮がん検診（細胞診検査など）」の受診率が2番目に多くなっています。また、「受診していない」人は「50歳代」以下で県全体より多くなっており、若いほど多い傾向が見られます。

	内科的な健康診断（血液検査、尿検査を含むもの）	胃がん検診（バリウム検査など）	肺がん検診（胸のレントゲン撮影など）	大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）	子宮がん検診（細胞診検査など）	乳がん検診（触診やマンモグラフィ撮影など）	その他	わからない	受診していない	
県全体	71.5%	28.5%	28.2%	27.2%	14.1%	12.5%	3.3%	0.5%	20.9%	
地域別	地域1（北部）	74.1%	28.2%	28.3%	29.7%	13.6%	12.0%	2.9%	0.3%	18.8%
	地域2（西部）	71.8%	30.7%	27.2%	25.1%	17.1%	15.3%	4.2%	1.0%	19.5%
	地域3（中部）	68.5%	27.5%	26.7%	22.8%	15.7%	12.4%	3.7%	0.1%	23.1%
	地域4（東部）	67.1%	31.5%	31.9%	28.7%	13.9%	14.8%	2.8%	1.4%	25.9%
	地域5（南東部）	70.8%	26.2%	30.7%	26.7%	9.9%	8.9%	5.0%	0.0%	19.8%
	地域6（南西部）	66.3%	31.5%	29.2%	27.0%	10.1%	13.5%	2.2%	3.4%	28.1%
年齢別	20歳代	52.7%	0.9%	4.0%	2.7%	12.9%	1.8%	1.8%	2.2%	39.7%
	30歳代	54.5%	14.8%	14.5%	11.8%	20.3%	11.2%	0.5%	0.3%	32.9%
	40歳代	69.3%	32.9%	29.8%	28.1%	21.9%	19.0%	2.1%	0.2%	22.1%
	50歳代	71.0%	33.1%	33.3%	27.0%	16.8%	17.0%	2.2%	0.4%	22.1%
	60歳代	76.0%	34.2%	35.1%	33.4%	12.5%	14.8%	4.9%	0.2%	18.5%
	70歳以上	83.9%	33.1%	32.1%	36.7%	5.9%	7.1%	5.3%	0.6%	9.1%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

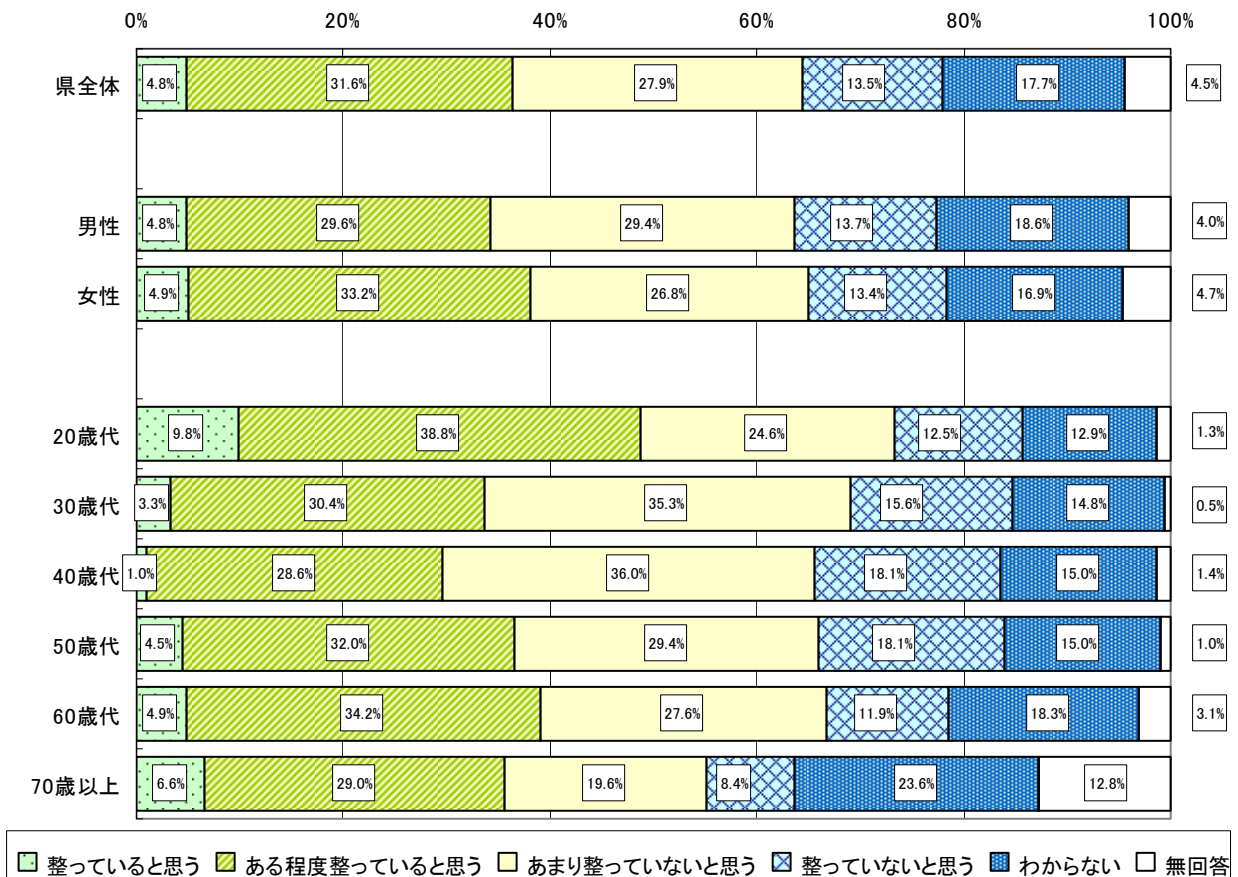
太字は「その他」、「わからない」、「受診していない」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を示している。「受診していない」人の割合については県全体を超えるものをピンク色の網掛けとしている。

5-2 学習環境の充実状況

◇「整っている」（「整っていると思う」＋「ある程度整っていると思う」）が36.4%、「整っていない」（「あまり整っていないと思う」＋「整っていないと思う」）が41.4%で、「整っていない」と感じている人の方が多くなっています。

◇性別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「女性」の方が「整っている」と感じている人が多くなっています。

◇年齢別にみると、「整っている」と感じている人は「20歳代」、「50歳代」、「60歳代」で県全体より多くなっていますが、その他の年齢層では少なく、特に「40歳代」で少なくなっています。



5-3 学習活動について行政に求めること

◇「開催されている講座などに関する情報を収集し、提供する」(47.4%)が最も多く、次いで「多様な学習、講座などを多く開催し、学習の機会を増やす」(45.0%)、「開催してほしい講座や、開催場所など希望を把握するよう努める」(32.0%)、「生涯学習に関係する団体やグループ活動などを支援する」(22.2%)、「地域の中に指導者を養成する」(19.4%)などとなっています。

「その他」としては、「図書館などの施設の整備」、「公共交通の拡充や託児施設の設置、費用の補助などのサポート」、「開催曜日や時間などの配慮」、「開催場所や回数の拡充」などの意見がありました。

◇地域別にみると、県全体の傾向と大差はありませんが、「地域6（南西部）」では「地域の中に指導者を養成する」が同率で第1位となっています。

◇年齢別にみると、上位3項目は県全体と同じですが、「40歳代」と「70歳以上」では第1位と第2位が逆転しています。

	情報収集し、提供する	多様な学習、講座などを多く開催し、学習の機会を増やす	開催してほしい講座や、開催場所など希望を把握するよう努める	生涯学習に関係する団体やグループ活動などを支援する	地域の中に指導者を養成する	生涯学習の重要性・必要性等の意識啓発を行う	学習成果の発表や表彰の機会をもつ	その他
県全体	47.4%	45.0%	32.0%	22.2%	19.4%	19.2%	4.4%	4.3%
地域別	地域1(北部)	50.9%	46.0%	32.6%	23.6%	18.4%	4.7%	4.0%
	地域2(西部)	48.1%	53.0%	30.0%	22.6%	19.2%	2.1%	4.9%
	地域3(中部)	48.1%	47.0%	34.1%	18.8%	16.8%	5.8%	4.9%
	地域4(東部)	42.1%	38.9%	31.0%	24.5%	25.9%	4.2%	3.7%
	地域5(南東部)	33.7%	34.7%	27.2%	24.8%	23.3%	2.5%	4.0%
	地域6(南西部)	30.3%	27.0%	23.6%	14.6%	30.3%	23.6%	2.2%
年齢別	20歳代	54.9%	51.8%	37.9%	21.0%	19.6%	8.9%	3.6%
	30歳代	60.5%	50.1%	39.5%	18.4%	12.6%	5.2%	4.4%
	40歳代	49.0%	53.1%	35.5%	16.9%	17.6%	6.0%	6.9%
	50歳代	55.4%	46.0%	33.9%	25.4%	20.5%	4.1%	3.4%
	60歳代	50.1%	41.4%	31.4%	26.7%	22.8%	2.9%	3.5%
	70歳以上	29.1%	37.9%	23.1%	21.3%	20.0%	22.2%	3.3%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、青色の網掛けおよび下線を付した数値は最多項目を、黄色の網掛けは2番目に多い項目を、斜体は同率であることを示している。

平成22年度
県民アンケート調査
報告書（概要版）

平成22年11月

奈良県総務部知事公室統計課
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8439
